城南校区社会福祉協議会

地　域　福　祉　活　動　計　画

城南校区社会福祉協議会・大分市社会福祉協議会

ごあいさつ

大分市において、平成 26 年度より「みんなが主役の支え合いプラン」（第 3 期大分市地域福祉計画・第 4 次地域福祉活動計画）に基づき、地域福祉推進に向けた取り組みが推進されています。

ここ城南校区においては、誰もが住みなれた地域を活かし、お互いが支え合い助け合うことにより、安心していきいきと生活できるまちづくりを目指し、自治会や民生委員児童委員、ボランティア等の各種団体が連携する中、小地域福祉ネットワーク活動をはじめとしたさまざまな地域福祉活動を展開してきました。

近年、我が国においては、超高齢社会、人口減少社会、単身世帯の増加などさまざまな社会的要因により、地域内での孤立や、生活上の支援を要する人がますます増加することが懸念されており、この状況は城南校区も同様であると考えます。

そのような状況の中、それらの諸課題への対応は、公的なサービスだけでは困難であり、今後、ますます「地域福祉」が重要となってくることが、国が掲げた「我が事・丸ごと」の地域共生社会の実現の考えの中において示されたところであります。

こうした状況を踏まえ、城南校区で今後、求められる地域福祉活動を更に充実させていくことを目的に、その第一歩として、「城南校区地域福祉活動計画」を策定いたしました。

今後は、この計画に掲げた目標の実現に向け、一歩ずつ着実に推進していきたいと考えています。

この計画が、地域の福祉活動の発展につながることを祈念するとともに、計画を策定するにあたりご尽力いただきました関係者並びにご意見をお寄せいただきました皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

城南校区社会福祉協議会
会長　　岡村　晰

目　次

第１章　はじめに　1

（1）計画策定の背景　1
（2）大分市社会福祉協議会とは　1
（3）校（地）区社会福祉協議会とは　1

第2章　城南校区について　2

（1）城南校区の概要　2
（2）校（地）区社会福祉協議会について　2
（3）人口推移　2
（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状　3
（5）高齢者サロンについて　5
（6）老人会について　6

第3章　ふれあい対象者に関する実態調査　7

基本目標1:「地域のつながりをつくる」に関する設問　8
基本目標2:「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問　10
基本目標3:「困りごとを深刻化させない」に関する設問　12
基本目標4:「安心・安全をつくる」に関する設問　15

第4章　城南校区の活動計画と策定までのプロセス　16

（1）目標と具体的取り組み　16
（2）計画策定メンバー　18
（3）計画策定経過　18

第5章　資料編　19

（1）他の活動紹介　19
（2）実態調査票　24
（3）実態調査集計結果　27

第１章　はじめに

（1）計画策定の背景

城南校区は、大分市市街地の南西部に位置しており、校区の南側にはJR九州久大本線、並行して大分県道601号小挟間大分線が走っています。1962年から1965年にかけて城南団地が造成されましたが、1964年に大分市が新産業都市に指定、大分臨海工業地帯が開発されたことと相まって、人口が急増した地域です。

時代の変遷とともに、地域の様子や人と人との関わり方も少しずつ変わっていますが、今も昔も地域を支えてきたのは、校区に対する愛情と人と人とのつながりです。

私たちは、先輩たちが守り育ててきた地域の絆を、さらに太く育て次の子どもたちの世代に引き継いでいくため、今回、大分市社会福祉協議会とともに、「城南校区福祉活動計画」を策定いたしました。

誰もが住みたくなる町、いつまでも住みたくなる街・城南校区を目指してまいります。

（2）大分市社会福祉協議会とは

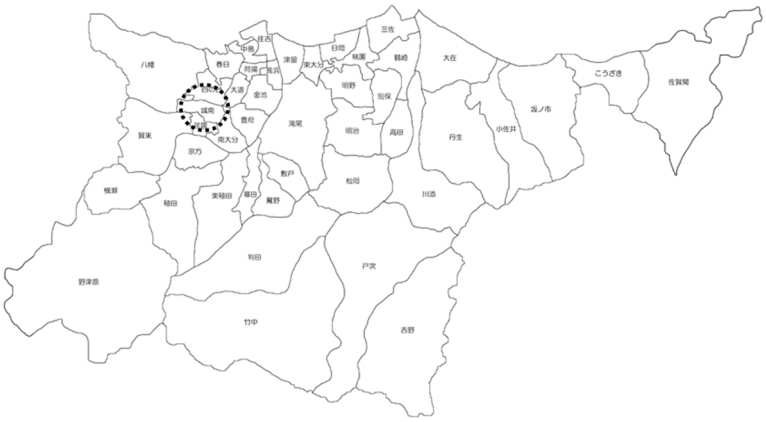
社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定された「地域福祉の推進を目的とした団体」で、民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という2つの側面をあわせもった、民間の非営利組織です。社協は、地域の中の課題の把握に努め、組織構成員とともに考え、協力して解決を図ることにより、住民全体の地域福祉の向上を目指しています。

（3）校（地）区社会福祉協議会とは

小学校区や中学校区等を基本に、自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、子ども会、校区内のボランティア等の地域住民で組織されている団体です。大分市社会福祉協議会との連携のもと、市内に45の校（地）区社会福祉協議会が組織されており、各地域の特性を考慮した個性ある自主的な福祉活動〔ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）や、校区単位での子育て支援や地域住民の交流行事など〕を展開しています。

第2章　城南校区について

（1）城南校区の概要



◇城南校区は、大分市市街地の南西部に位置しており、校区の南側にはJR 九州久大本線、並行して大分県道 601 号小挟間大分線が走っています。大分市が新産業都市に指定、大分臨海工業地帯が開発されたことと相まって、人口が急増した地域です。

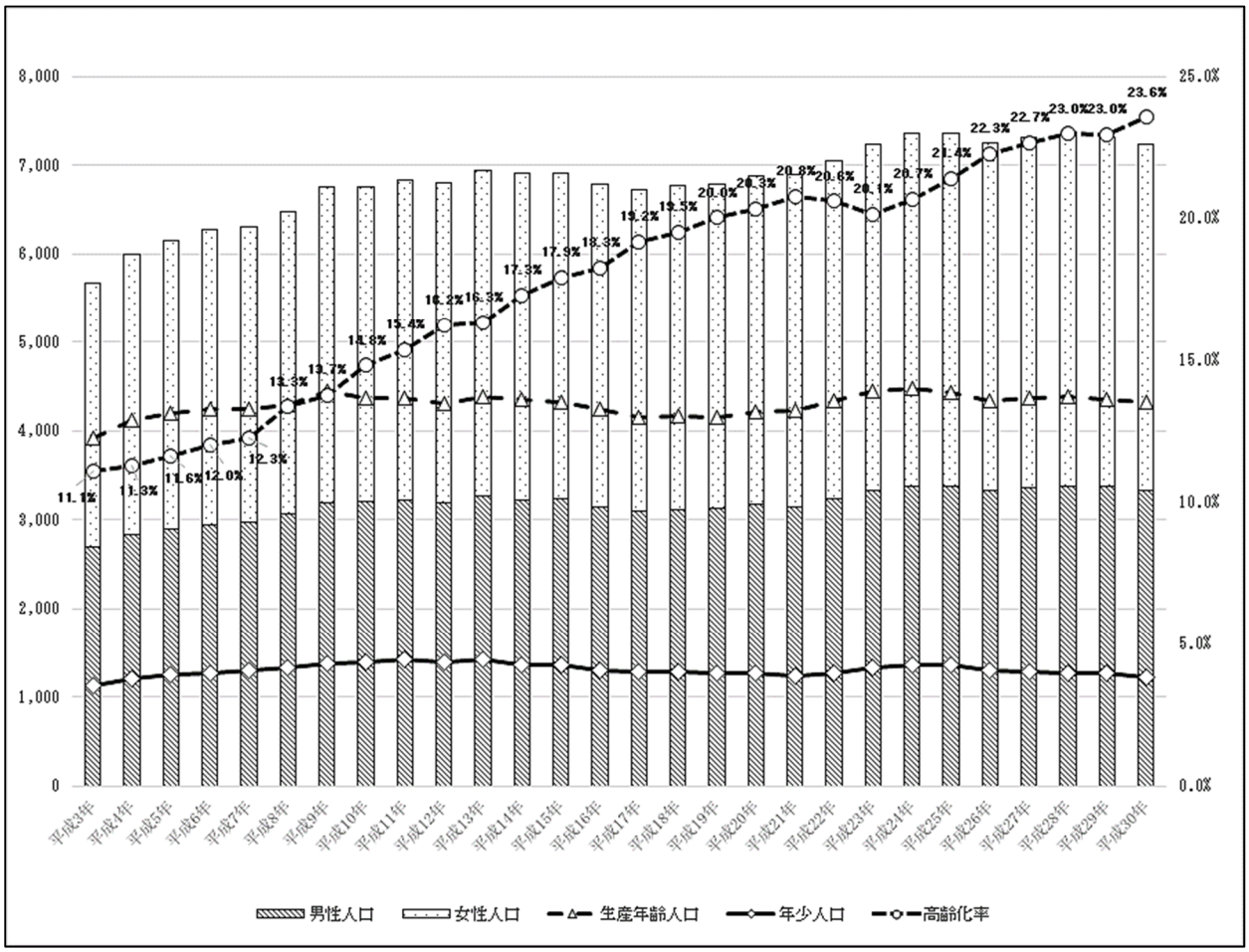
◇8 の自治会区と 15 の民生委員児童委員区、ボランティア団体等と連携し、「地域福祉の共助の核」として様々な事業に取り組んでいます。

（2）校（地）区社会福祉協議会について

◇昭和 62 年に設立されました。

（3）人口推移

◇性別人口・生産年齢人口・年少人口・高齢化率の推移



資料：大分市住民基本台帳人口（各年代 9 月時点※一部 3 月）

（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状

①ふれあい対象者　　301 人

②ふれあい協力者　　314 人

③協力者のいない対象者　　44 人

④緊急連絡先のない対象者　4 人

⑤協力者・緊急連絡先が共にない対象者　2 人

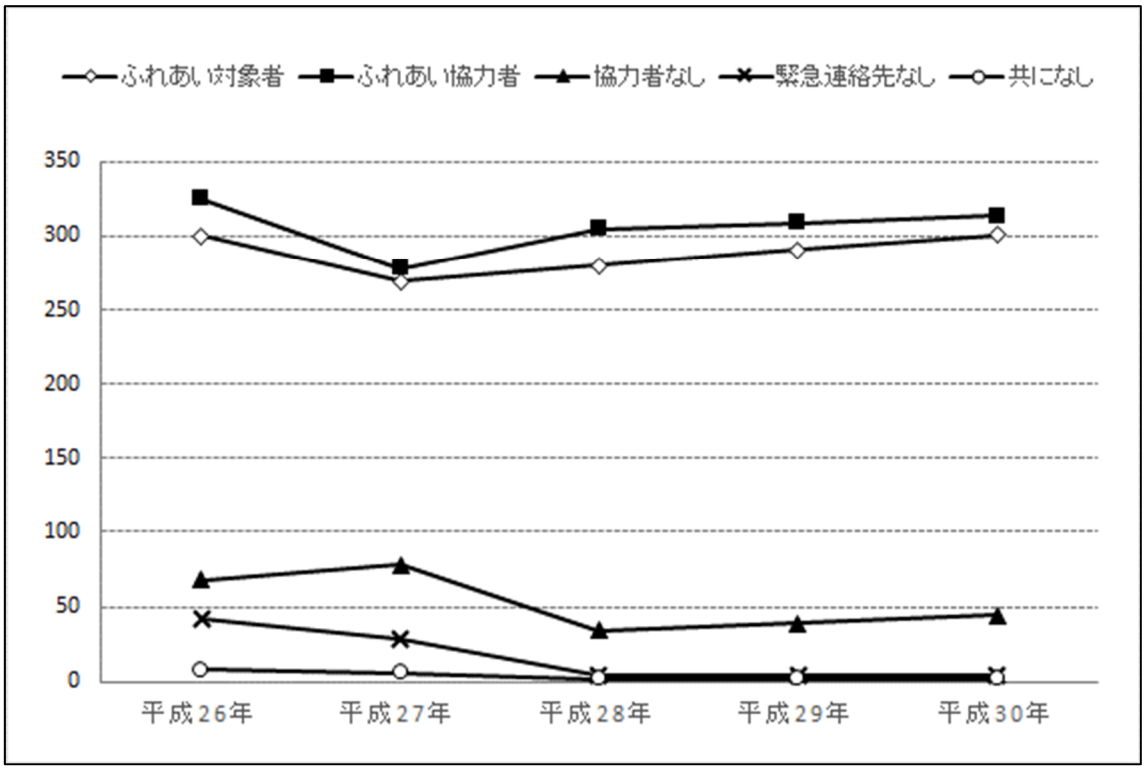
（平成 30 年 4 月 1 日現在）

番号	自治会名	①	②	③	④	⑤	番号	民生委員担当区	①	②	③	④	⑤
1	永興	62	43	10	0	0	1	永興（1～4、8～10組）	33	22	6	0	0
							2	永興（5～7、11、12組）	29	21	4	0	0
2	竹の上	21	23	5	1	1	3	竹の上	21	23	5	1	1
3	城南団地東	7	5	1	0	0	4	城南東町	7	5	1	0	0
4	城南団地西	54	64	8	2	1	5	城南西町（1～7組）	27	36	2	0	0
							6	城南西町（8～20組）	27	28	6	2	1
5	城南団地南	63	82	10	0	0	7	城南南町（S-1、S-2、社宅）	34	41	8	0	0
							8	城南南町（1組～4組、5組-1～2）	29	41	2	0	0
6	城南団地北	78	76	10	0	0	9	城南北町（1A-3、15、16、2A-11～14）	13	14	0	0	0
							10	城南北町（20～30班（24班除く））	28	25	6	0	0
							11	城南北町（1A-2、4、5、24班、2A1～3）	19	17	4	0	0
							12	城南北町（1H、2H、HRR-1）	18	22	0	0	0
7	庄の原	16	22	0	1	0	13	庄の原（庄の原橋より西側、庄の原橋より東側のうち峠・庄の原線より南側）	8	11	0	0	0
							14	庄の原（庄の原橋より東側のうち峠・庄の原線より北側）	8	11	0	1	0
8	はなの森	0	0	0	0	0	15	はなの森	0	0	0	0	0

城南地区のふれあい対象者推移

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

城南校区	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
ふれあい対象者	300	269	280	291	301
ふれあい協力者	325	278	305	309	314
協力者なし	68	78	34	39	44
緊急連絡先なし	42	28	4	4	4
共になし	8	6	2	2	2



～ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）とは～

「ふれあい協力者」が、日常生活の中で、「ふれあい対象者」への「見守り」や「声かけ」を行い、様々な変化に気づき自治会長・民生委員などにつなげ、地域での見守り合い・話し合い・助け合いの仕組みを構築する活動です。

「ふれあい対象者」：対象者の条件は特にありませんが、支援を要するひとり暮らし高齢者や障がい者、ひとり親世帯等で、本人が活動に同意された方

「ふれあい協力者」：ふれあい対象者に対し、日常的に「見守り」「声かけ」をしていただける近隣住民の方

「緊急連絡先」　：ふれあい対象者の緊急時（事故や急病など）の連絡先で、原則ふれあい対象者の身内の方にお願いしています

（5）高齢者サロンについて

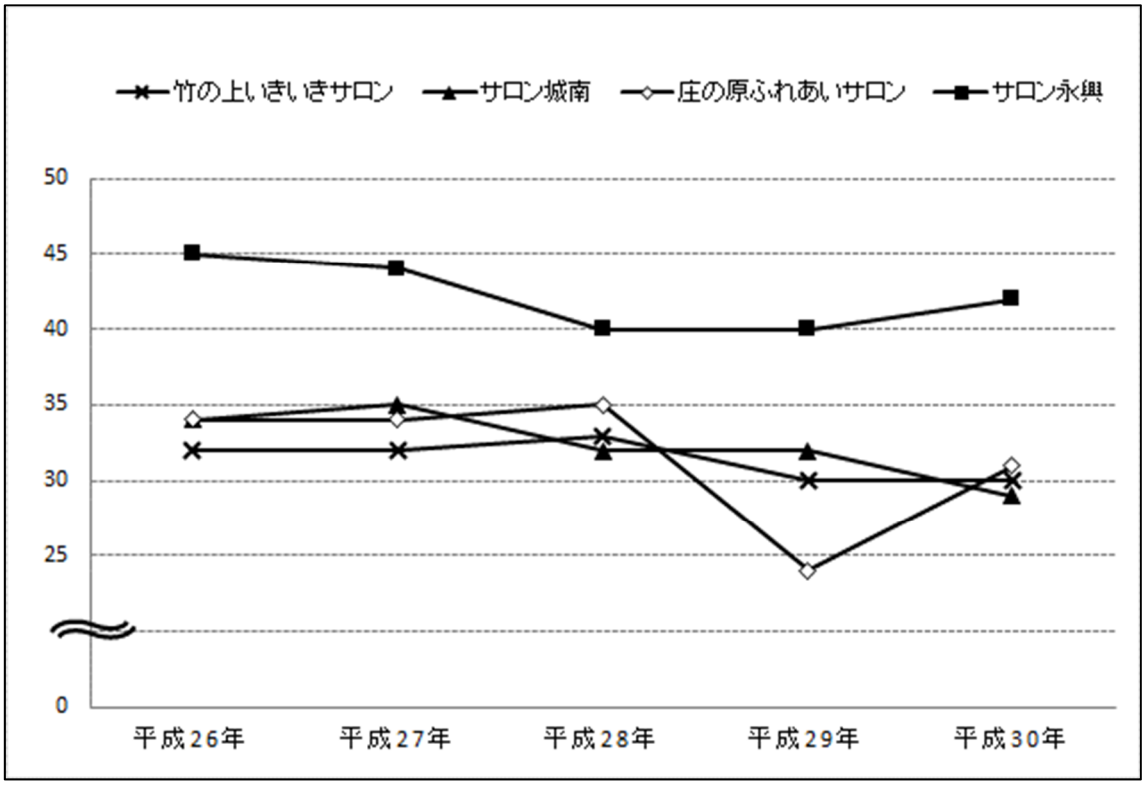
城南校区内にある高齢者サロンは 4 ヶ所です。

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

サロン名	開催場所	年間開催数	参加者数	登録日
竹の上いきいきサロン	竹の上公民館	48	30	H17.2.3
サロン城南	城南中央集会所	37	29	H18.4.28
庄の原ふれあいサロン	庄の原公民館	24	31	H18.11.6
サロン永興	永興公民館	12	42	H23.3.31

城南校区での高齢者サロン参加者の推移

サロン名	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
竹の上いきいきサロン	32	32	33	30	30
サロン城南	34	35	32	32	29
庄の原ふれあいサロン	34	34	35	24	31
サロン永興	45	44	40	40	42



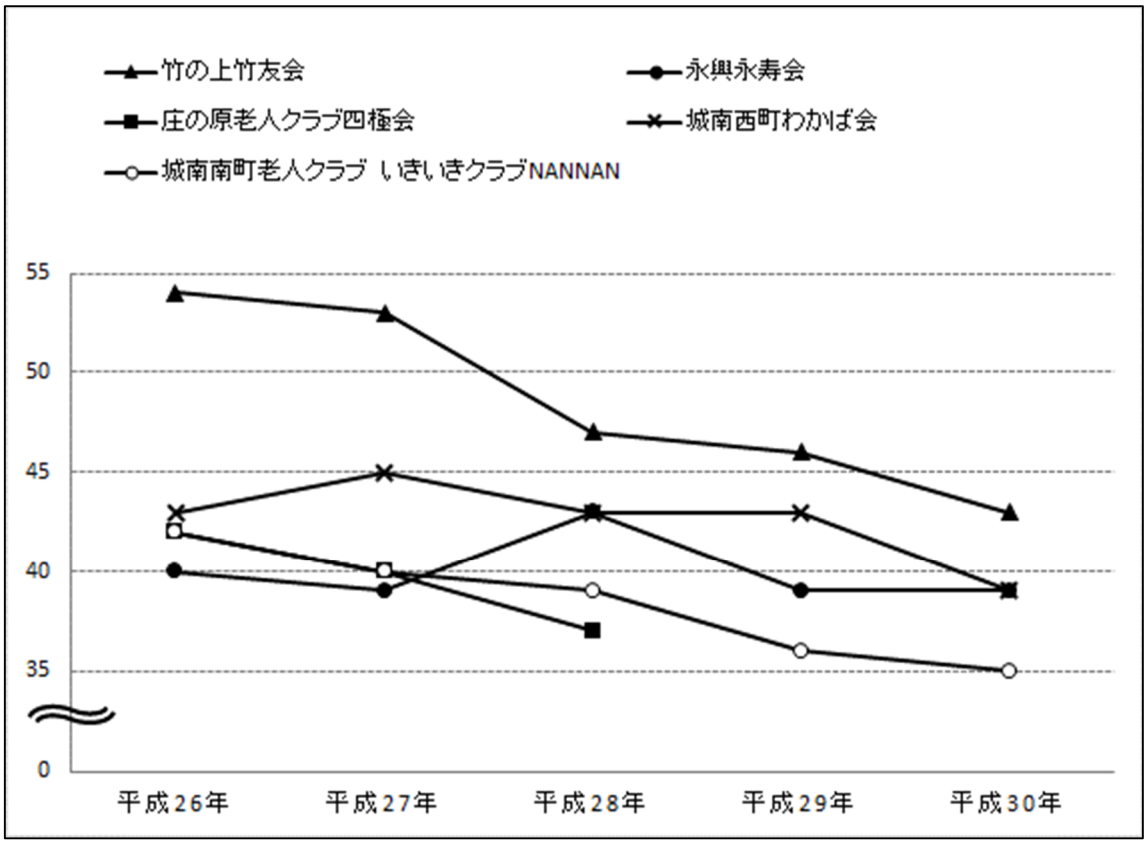
（6）老人会について

城南校区では、大分市老人クラブ連合会に加入している老人クラブは 5 ヶ所あります。

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

老人クラブの参加者推移

	老人クラブ名	自治会	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1	竹の上竹友会	竹の上	54	53	47	46	43
2	永興永寿会	永興	40	39	43	39	39
3	庄の原老人クラブ四極会	庄の原	42	40	37	－	－
4	城南西町わかば会	城南団地西	43	45	43	43	39
5	城南南町老人クラブ いきいきクラブNANNAN	城南団地南	42	40	39	36	35



第3章　ふれあい対象者に関する実態調査

本計画を策定するにあたり、城南校区内のふれあい対象者の生活の実態や地域福祉に関する意識を把握するため、実態調査を実施しました。

実施期間	平成 30 年 7 月 17 日～平成 30 年 9 月 18 日
対　象	城南校区内のふれあい対象者　271 名 （平成 30 年 7 月 1 日現在の対象者数）
回答者数	259 名
回答率	95.6%
調査協力者	城南校区民生委員の方々

大分市社会福祉協議会では、みんなが主役のささえあいプラン（大分市地域福祉計画、大分市地域福祉活動計画）に基づいて、地域福祉の推進に取り組んでいますが、その基本目標として、「地域の繋がりをつくる」「地域福祉の担い手をつくる」「課題を深刻化させない」「安心・安全をつくる」をかかげています。

今回の実態調査では、この 4 つの基本目標に沿って、アンケートの設問を設定いたしました。

基本目標ごとの調査結果の概要は次のとおりです。

基本目標1:「地域のつながりをつくる」に関する設問

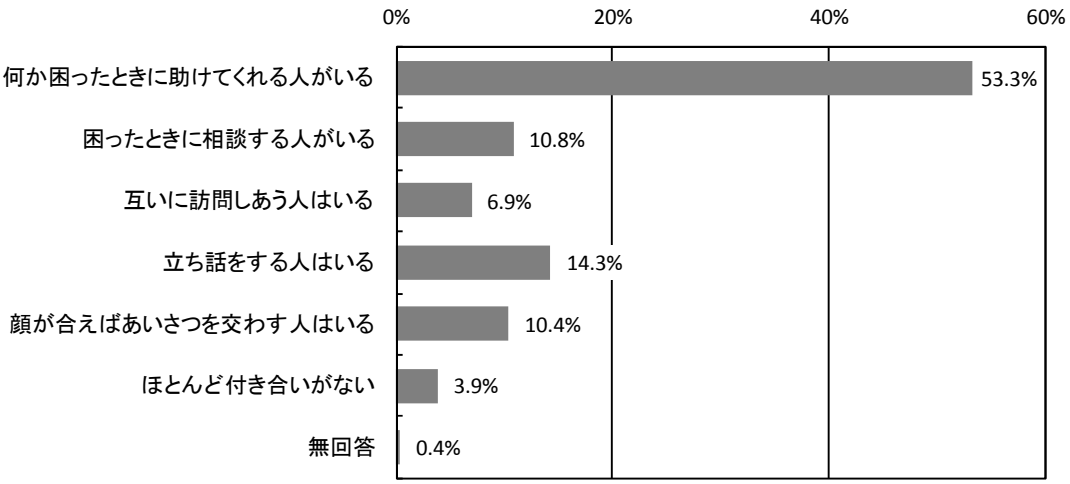
近所づきあいの程度・考え方(問 15・16)

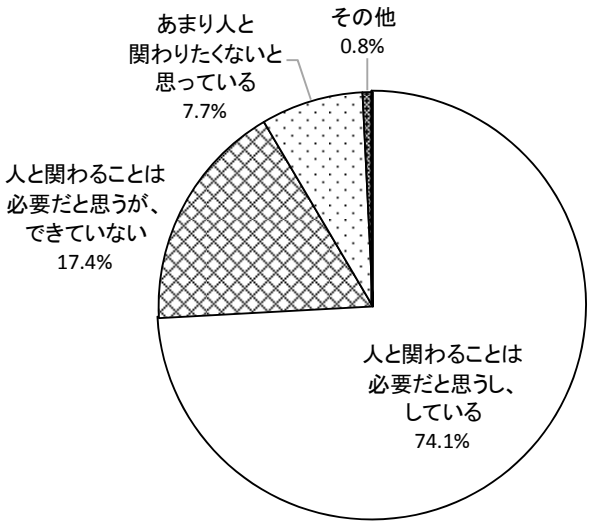
近所づきあいの程度については、「何か困ったときに助けてくれる人がいる」が 53.3%と最も高く、次いで、「立ち話をする人はいる」が 14.3%、「困ったときに相談する人がいる」が 10.8%の順となっている。

なお、「ほとんど付き合いがない」が 3.9%となっている。

近所づきあいについての考え方では、「人と関わることは必要だと思うし、している」が 74.1%で最も高く、次いで「人と関わることは必要だと思うが、できていない」が 17.4%となっている。

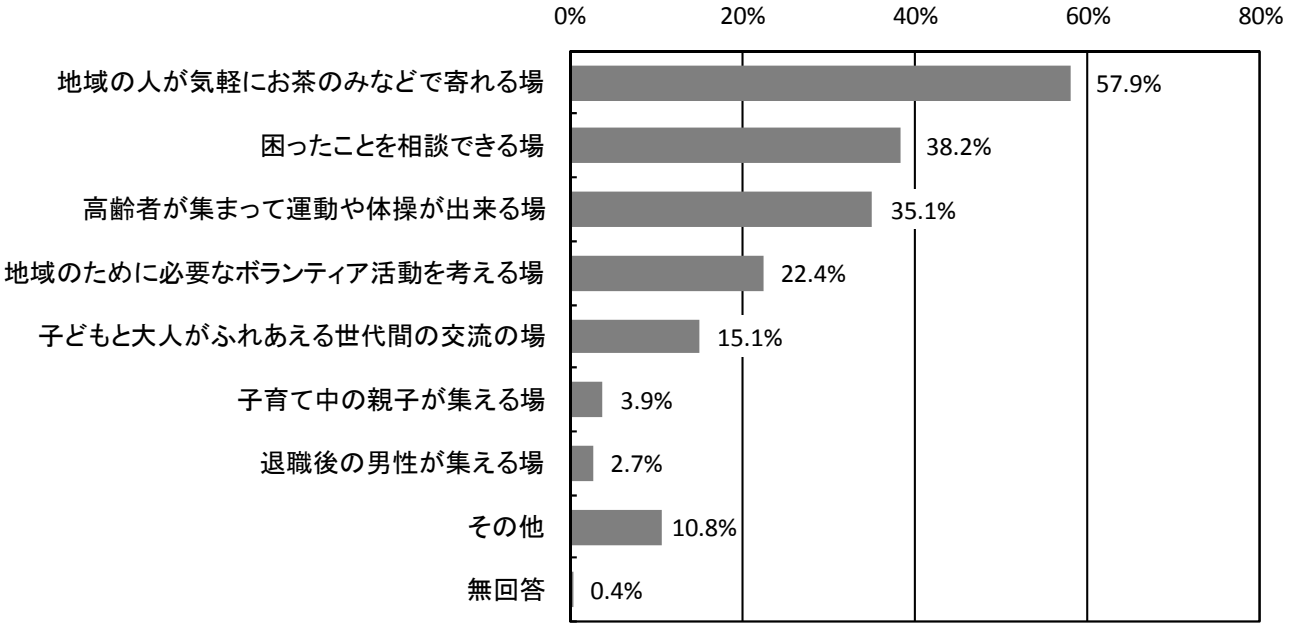
なお、「あまり人と関わりたくないと思っている」は 7.7%となっている。





必要と思われる≪地域住民がつながる場≫（問 17）

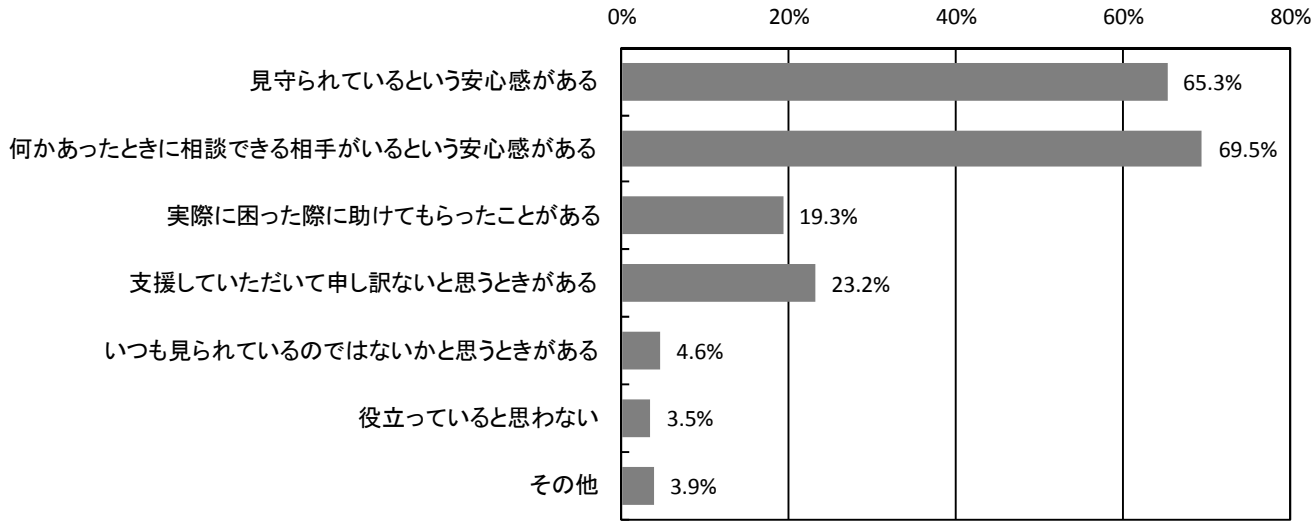
必要と思われる≪地域住民がつながる場≫については、「地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場」が 57.9%で最も高くなっている。また、「困ったことを相談できる場」が 38.2%、「高齢者が集まって運動や体操が出来る場」が 35.1%、「地域のために必要なボランティア活動を考える場」が 22.4%となっている。



基本目標2:「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問

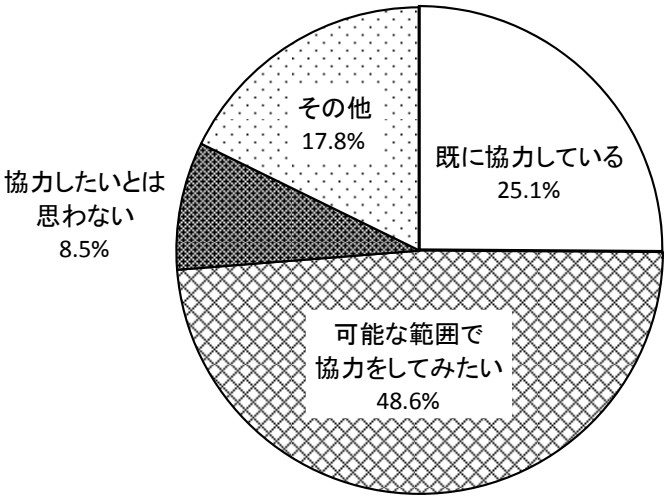
「ふれあい活動」で感じること(問 19)

「ふれあい活動」で感じることについては、「何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある」が 69.5%で最も高く、次いで「見守られているという安心感がある」が 65.3%となっている。



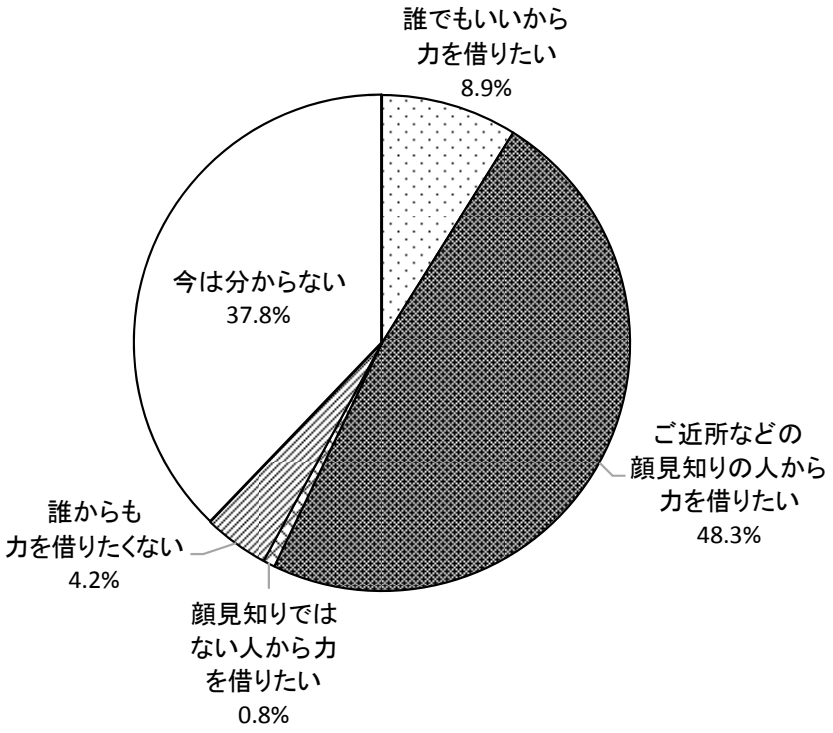
地域の行事や活動に協力しみたいと思うか(問 20)

地域の行事や活動に協力してみたいと思うかについては、「既に協力している」が 25.1%、「可能な範囲で協力をしてみたい」が 48.6%、「協力したいとは思わない」が 8.5%、「その他」が 17.8%となっている。



日常生活のお手伝いに力を借りたいか（問 10）

日常生活のお手伝いに力を借りたいかについては、「誰でもいいから力を借りたい」と答える方よりも、「ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい」と答える方の方が多い傾向にある。



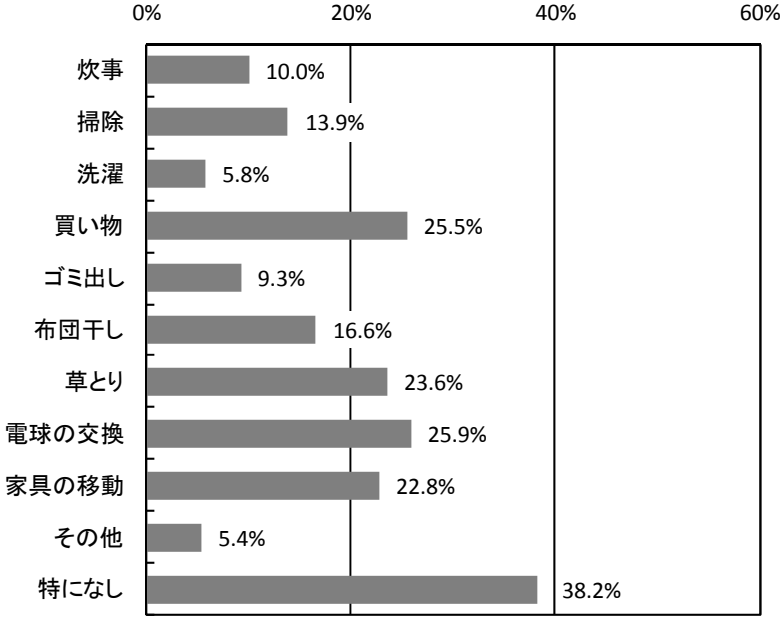
基本目標3:「困りごとを深刻化させない」に関する設問

日常の困りごと(問 7)

日常の困りごとについては、「特になし」が 38.2%で最も高く、次いで「電球の交換」25.9%、「買い物」25.5%、「草とり」23.6%となっている。

(N=259)

	回答数	割合
炊事	26	10.0%
掃除	36	13.9%
洗濯	15	5.8%
買い物	66	25.5%
ゴミ出し	24	9.3%
布団干し	43	16.6%
草とり	61	23.6%
電球の交換	67	25.9%
家具の移動	59	22.8%
その他	14	5.4%
特になし	99	38.2%

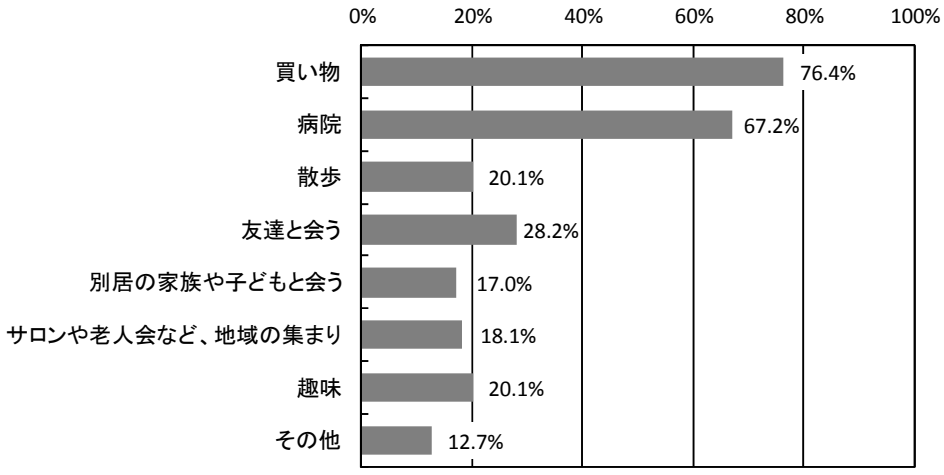


外出の理由(問 11)

外出の理由については、「買い物」が 76.4%となっており最も高く、次いで「病院」67.2%、「友達と会う」28.2%、「散歩」と「趣味」が 20.1%となっている。

(N=259)

	回答数	割合
買い物	198	76.4%
病院	174	67.2%
散歩	52	20.1%
友達と会う	73	28.2%
別居の家族や子どもと会う	44	17.0%
サロンや老人会など、地域の集まり	47	18.1%
趣味	52	20.1%
その他	33	12.7%

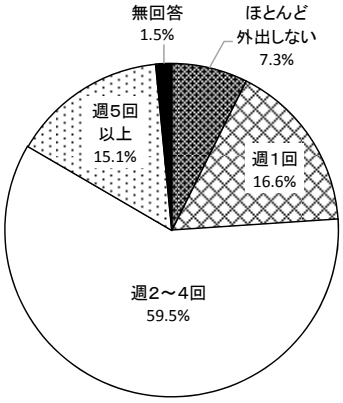


外出の頻度（問 12）

外出の頻度については、「週 2～4 回」が 59.5%と最も高くなっている。次いで「週 1 回」が 16.6%と高く、「週 5 回以上」は 15.1%、「ほとんど外出しない」は 7.3%となっている。

（N=259）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	19	7.3%
週1回	43	16.6%
週2～4回	154	59.5%
週5回以上	39	15.1%
無回答	4	1.5%



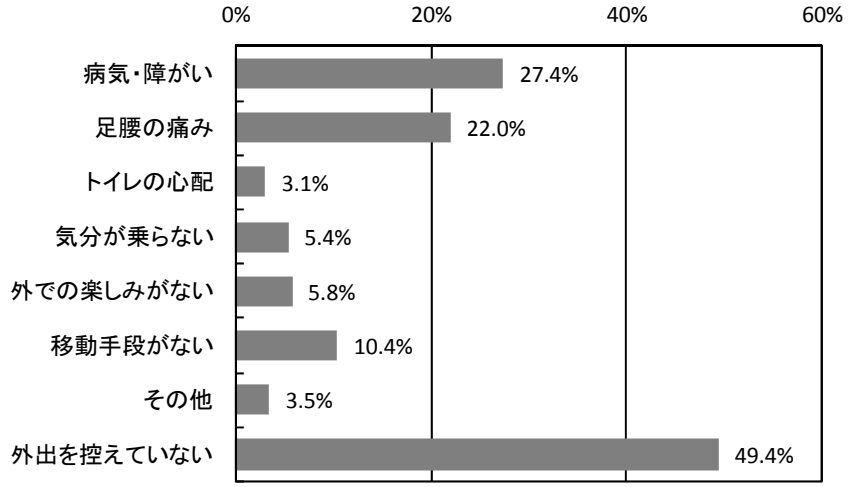
外出を控える理由（問 13）

外出を控える理由では、「病気・障がい」27.4%が高い割合となっている。ついで、「足腰の痛み」は 22.0%、「移動手段がない」は 10.4%となっている。

なお、「外出を控えていない」については 49.4%となっている。

（N=259）

	回答数	割合
病気・障がい	71	27.4%
足腰の痛み	57	22.0%
トイレの心配	8	3.1%
気分が乗らない	14	5.4%
外での楽しみがない	15	5.8%
移動手段がない	27	10.4%
その他	9	3.5%
外出を控えていない	128	49.4%

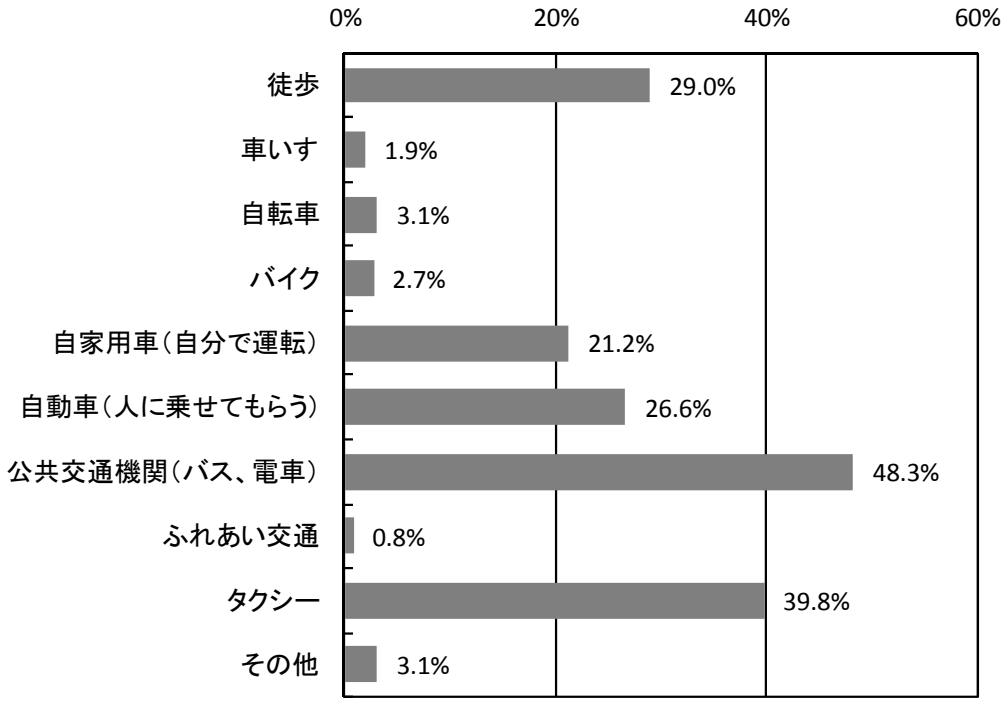


主な外出の手段(問 14)

主な外出の手段については、「公共交通機関（バス、電車)」が 48.3%で最も高く、次いで「タクシー」39.8%、「徒歩」29.0%、「自動車（人に乗せてもらう)」26.6%の順となっている。

（N=259）

	回答数	割合
徒歩	75	29.0%
車いす	5	1.9%
自転車	8	3.1%
バイク	7	2.7%
自家用車(自分で運転)	55	21.2%
自動車(人に乗せてもらう)	69	26.6%
公共交通機関(バス、電車)	125	48.3%
ふれあい交通	2	0.8%
タクシー	103	39.8%
その他	8	3.1%

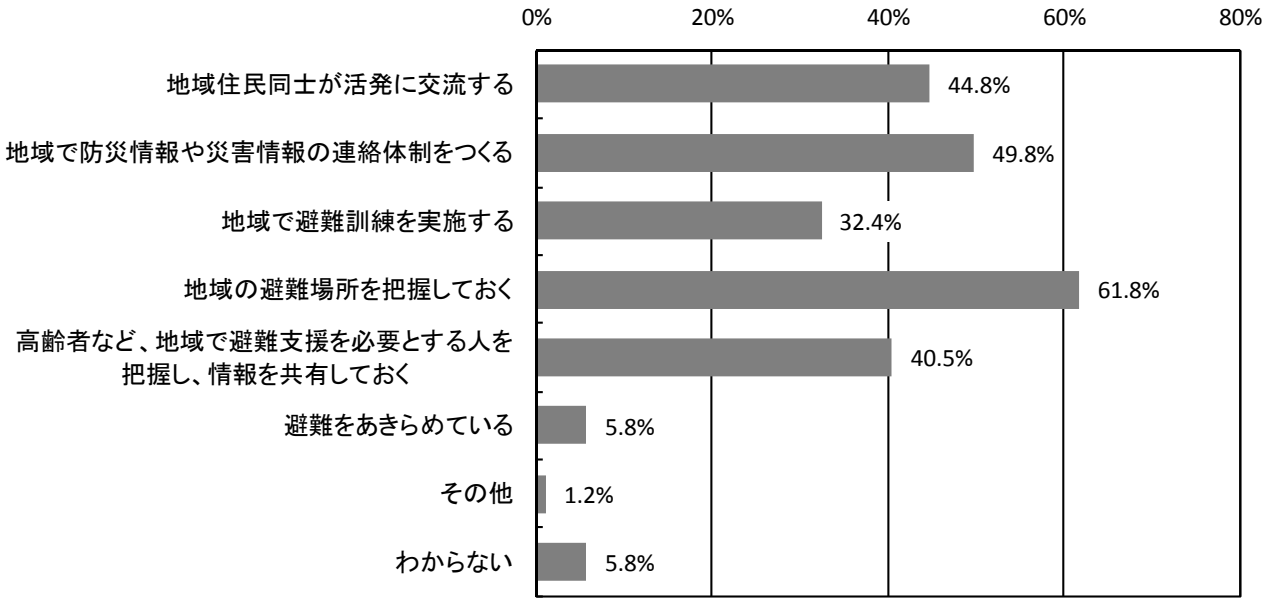


基本目標4:「安心・安全をつくる」に関する設問

災害に備えた地域ぐるみの準備とは(問 18)

災害に備えた地域ぐるみの準備については、「地域の避難場所を把握しておく」が 61.8%で最も高く、次いで「地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる」49.8%、「地域住民同士が活発に交流する」44.8%、「高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく」40.5%の順となっている。

なお、「避難をあきらめている」と「わからない」は 5.8%となっている。



第4章　城南校区の活動計画と策定までのプロセス

（1）目標と具体的取り組み

実態調査や話し合いから出た意見をふまえ、以下の取り組みを考えました。

城南校区社協の目標１

多世代交流の場を充実し、地域のつながりを広げよう！

地域には、高齢者サロンが４箇所あり、子育てサロン、地域独自のコミュニティサロンもあります。しかし、それぞれ参加者が縦割りであり、多世代交流が少ない、若い世帯の地域福祉活動における関わりが少ないといった課題もあります。そこで、地域住民のつながりを充実させつつ、地域福祉活動の充実を目指します。

活動の方向性（具体的取り組み）

●地域内の交流の場の整理
●高齢者・子育て・コミュニティサロンの交流会（担い手間の情報交換）の開催
●既存の交流の場を活用した多世代交流の促進
●つながりを通じた地域活動の担い手募集

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

・地域の行事に若い人がなかなか出てこない。
・若い人は平常時に困らないので、地域のつながりの必要を感じていない人も多いのでは？若い人とつながるには誘い方に工夫が必要。
・定年退職後に、はじめて地域活動への参加を呼びかけてもなかなか協力してもらえない。

～提案・対応策～

・子どもがいると若い世代も地域行事に参加しやすいのでは。
・３世代の交流として、運動会を行った。多世代交流は、将来の地域の担い手づくりとしても長期的に見て重要。
・ものづくりや運動会を通じての多世代交流を行うことは大事。大きな成果は見込めないかもしれないが、少しずつ、地道に行っていくことが大事。
・多世代交流を考える上では、全ての人の参加を求めがちだが、それでは難しい。多少の世代の偏りは覚悟して最初から１００％を求めないことが大事。
・子育てサロンをしているが、時には高齢者に参加を呼びかけるのも良いかも。
・高齢者サロンと子育てサロンのつながりを年１～２回持つことは可能かも。
・交流の場や方法はさまざまある。子育てサロンと高齢者サロンの交流だけでなく、多面的に検討していくと良いと思う。

城南校区社協の目標２

生活上の軽微な困りごとを抱えた人たちを支える仕組みづくりをすすめよう！

実態調査から、ゴミ出しや買い物等に困っており「生活のしづらさ」を感じている人が、一定数数いることが分かり、今後も、少子高齢化や単身世帯の増加により、そういった問題を抱える人が増えていくことが予測されます。

そこで、生活上の軽微な支援を必要な人に行える仕組みづくりをすすめます。

活動の方向性（具体的取り組み）

●他地域や他制度の取組みに関する勉強会
●支援の仕組み（サービス内容、利用方法等）の検討
●支援者（サポーター）の募集と組織化

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

・義理の母が一人暮らししているが、電球の交換とか、何かの交換が一番困っているように見える。
・電球の交換など、ピンポイントで助けられるものを、若い人を集めてサポートできないか。しかし、若い人は昼間いない人が多いかも。
・困りごとがないといいながら、こういうものがあったらいいと思っていたり、諦めている方もいるのでは。
・地域で生活支援の仕組みをつくるまでには時間がかかる。それまでに困った人がいた場合は、ファミサポ、軽度生活援助事業等の他の仕組みを紹介するしかない。

～提案・対応策～

・困りごとがある人は無料でやってもらいたいとは思っていないと思う。有償サービスとして検討してはどうか？
・買い物などお金を扱う支援は難しいのでは。生協のサービスを使うなどして、外に出て買い物をした方が、健康面でも良いと思う。

(2)計画策定メンバー

	団体名・所属	役職	氏名
1	城南校区社会福祉協議会	会長	岡村　晰
2	城南校区社会福祉協議会	事務局長	帆足　京子
3	城南校区社会福祉協議会	地域福祉推進委員	秋吉　久
4	城南校区自治委員連絡協議会	校区自治連会長（庄の原自治委員）	関谷　弘
5	城南校区自治委員連絡協議会	はなの森自治委員	衛藤　新作
6	城南校区民生委員児童委員協議会	校区民児協会長（城南南町担当）	廣瀬　惇子
7	城南校区民生委員児童委員協議会	主任児童委員（城南キッズ代表）	河野　聡美
8	城南校区民生委員児童委員協議会	主任児童委員（城南キッズ）	森島　陽子
9	青少年健全育成協議会	会長	安東　正義
10	ボランティア城南	会長	藤原　凌子

(3)計画策定経過

開催日	内容
４月２５日（火）１５：３０	事業実施説明
５月　２日（水）１３：３０	城南校区社協事務局協議
５月２１日（月）１９：００	総会にて地域福祉活動計画策定の承認
６月　１日（金）～ ６月３０日（土）	実態調査活動説明会
７月　５日（木）１５：００	城南校区社協事務局協議
７月１６日（月）１９：００	実態調査活動説明会
７月１７日（火）～ ９月１８日（火）	調査実施期間
１１月３０日（金）１４：００	城南校区社協事務局協議
１２月１０日（月）１９：００	実態調査結果報告（城南校区民児協定例会）
１２月１８日（月）１９：００	第１回話し合い（実態調査報告等）
１月１２日（土）１０：００	城南校区社協事務局協議
２月１５日（金）１６：３０	〃
２月２５日（月）１９：００	第２回話し合い（地域課題の把握、課題出し等）
３月１８日（月）１６：００	城南校区社協事務局協議
３月１９日（火）１９：００	第３回話し合い（活動目標案の策定）
３月２３日（土）１５：００	城南校区社協事務局協議（最終まとめ）

お忙しい中、ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

今後とも、城南校区の地域福祉の発展のために、ご協力いただきますよう

お願い致します。

第5章　資料編

（1）他の活動紹介

地域の活性化を応援する大分市の補助事業

高齢者ファミリーサポートセンター事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	高齢者の在宅支援を提供する20歳以上の市民(援助会員)と、在宅支援を依頼する65歳以上の高齢者(依頼会員)からなる会員同士により、食事の準備や部屋の掃除、ごみの搬出等による有償ボランティアを行います。
対象地域	市内全域
対象者	65歳以上の高齢者
利用方法	ファミリーサポートセンターへ事前連絡
利用料	①平日（9：00～17：00）　1時間600円 ②休日及び上記時間帯以外の平日　1時間700円
利用実績	2,792件（平成28年度）

地域ふれあいサロン事業	
実施主体	大分市（運営主体：大分市社会福祉協議会）
活動内容	レクリエーション、体操、茶話会、季節の行事など
対象地域	市内全域
対象者	原則、該当の自治会にお住まいの概ね60歳以上の方。 ボランティアとして活動に協力する方については年齢を問わない。
利用方法	各サロンへ直接申し込み
利用料	実費のみ（各サロンによる）
利用実績	28年度　12,802人（登録者数）

市民健康づくり運動教室	
実施主体	大分市（運営主体：大分市民健康づくり運動指導者協議会）
活動内容	健康づくり運動指導者協議会において養成された指導者が、健康づくりのための運動教室を各地区の公民館等で行う。
対象地域	市内全域
対象者	誰でも良い（年齢制限なし）
利用方法	各教室へ直接申し込み
利用料	実費のみ（各教室による）
利用実績	28年度　171カ所（開催ヵ所数）

認知症カフェ運営事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	認知症の方とその家族、地域住民や専門職など誰もが集い、おしゃべりや情報交換等ができる交流の場
対象地域	市内全域
対象者	限定なし
利用方法	各カフェに直接申し込み
利用料	実費（カフェによる）
利用実績	28年度　11カ所（利用者数）

あなたが支える市民活動応援事業	
実施主体	大分市（市民協働推進課）
活動内容	ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体が、自主的に行う公益性の高い事業に対して、市民の届出（応援したい団体）に応じた補助金を交付する。
対象地域	市内全域
対象者	ボランティアグループ、NPO法人、生涯学習指導者団体、地区校区のまちづくりグループなど
利用方法	大分市人材バンクに登録した上で、応援を受けたい事業を市へ届出
利用料	
利用実績	102団体（利用団体数）

他の地域で行われている先進的な取り組み

地域通貨（ご加勢くん）を活用した軽度生活支援事業 【分類：日常的な家事・非日常的な支援】	
実施主体	こうざき校区社会福祉協議会
活動内容	草取り・買い物・ごみ出し・掃除・重い者の運搬など
対象地域	こうざき校区
対象者	こうざき校区の住民
利用方法	サポートセンターに申し込み
利用料	10分間100円　※地域通貨を活用
財源	平成27年実績 ・校（地）区社協事業費　19,800円 ・利用料収入　16,200円
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数9名（のべ利用者数64名） ・サービス利用時間　108時間40分

誰でも参加できる居場所「あらたにカフェ」 【分類：外出・交流】	
実施主体	上国東地区社会福祉協議会　あらたに会（大分県国東市）
活動内容	「あらたにカフェ」の開催（火・水・木・金） ・コーヒー１杯100円、その他メニュー有 ・健康体操やレクリエーション　など ・送迎つきの食事会（参加費400円）、買い物ツアーを月2回（第1、3木曜日実施）
対象地域	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
対象者	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
利用方法	送迎つきの食事会、買い物ツアーには事前申込が必要
利用料	無料
財源	〈初動設備〉 ・大分県里のくらし支援事業 ・大分県サロン活動等交流の場の立ち上げ支援事業（カフェ） ・大分県老人クラブ連合会　元気高齢者地域活動応援事業（食事会等） 〈活動費用〉 ⇒平成29年度は介護保険制度一般介護予防事業の予算の一部を活用
利用実績	平成28年12月～平成29年3月末の実績 カフェ　　53回開催　利用者数796名 食事会　　6回開催　利用者数126名 （参考）地域の人口491名（H28.4.1現在）

施設の地域交流スペースを活用した買い物支援事業 （地域貢献事業の一環） 【分類：外出】	
実施主体	社会福祉法人　龍和会　特別養護老人ホーム　寿志の里
活動内容	・8つの販売業者との協力による買い物の場の提供 ・自ら来られない方への支援（無料送迎）
対象地域	高江、住床、米良　※上記3地区以外から2名が利用
対象者	限定なし
利用方法	送迎のみ申し込みが必要
利用料	無料　※買い物は有料
財源	法人の施設、公用車、職員を活用した取り組みのため、ガソリン代程度の経費のみかかっている。
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数 981名（うち送迎利用者数 260人） ・年間約160,000円の売り上げ

富士見が丘お出かけ交通 【分類：外出】	
実施主体	富士見が丘連合自治会
活動内容	外出支援・買い物支援 ・外出支援についてはタクシー会社委託。買い物支援はボランティアが行う。
対象地域	富士見が丘団地内
対象者	虚弱高齢者、外出困難者
利用方法	タクシー会社に予約
利用料	1回 400円
財　　源	市・自治会補助金（廃品回収の収益金） 年間 約200,000円 ・タクシー会社への事務手数料118,800円（9,900×12月） ・利用１回あたりのタクシー会社への負担金640円 （個人負担400円、自治会補助240円）
利用実績	年間 約180回

暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」の取り組み 【分類：日常的な家事・外出・交流・非日常的な支援】	
実施主体	・暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」 ・竹田市地域包括支援センター
活動内容	・誰でもでも参加できる「寄り合いの場」 ・調理・清掃・ごみ出し・買物支援・外出支援・など
対象地域	久住町及びその近隣地域
対象者	・寄り合いの場は、特に限定なし。 ・生活支援サービスは会員加入者（年会費1,000円）
利用方法	電話で申し込み
利用料	1時間800円（30分400円）
財　　源	平成27年度 ・収入4,703,166円（市補助金、年会費、利用料等） ・支出2,847,530円
利用実績	平成28年度実績 ・会員数116名　支援回数197回

地域社会で支える外出支援活動 【分類：外出】	
実施主体	NPO法人　中原たすけあい（佐賀県）
活動内容	福祉有償運送と無償運送（もやい号）による外出支援
対象地域	①福祉有償運送（365日運行） 起点・終点が鳥栖市・みやき町であれば制限無し ②無償運送「もやい号」（毎週火・木・土AM9時～PM4時） 中原校区内
対象者	①福祉有償運送：鳥栖市、みやき町、上峰町の外出困難な会員 ②無償運送（もやい号）：中原校区内で外出に困っている会員
利用方法	申し込み
利用料	①福祉有償運送：1時間700円、1km50円 ※タクシーの約2分の1の金額 ②無償運送（もやい号）：ガソリン代実費（1回100円）
財　　源	（平成27年度） 福祉有償運送 / 無償運送（もやい号） / 合計 収入：2,002千円 / 278千円 / 2,280千円 支出：3,600千円 / 799千円 / 4,399千円 差引：-1,598千円 / -521千円 / -4,399千円 ※収支不足額は寄付金、他事業収益で補てん
利用実績	平成27年度実績 ①福祉有償運送：利用者数55人（延べ利用者数2,177人） ②無償運送（もやい号）：利用者数41人 （延べ利用者数2,788人）

(2)実態調査票

あなたご自身についておうかがいします。

【問１】あなたの性別を教えてください。

１）男性　　２）女性

【問２】あなたの年齢を教えてください。

１）50 歳未満　　２）50～59 歳　　３）60～64 歳　　４）65～69 歳
５）70～74 歳　　６）75～79 歳　　７）80～84 歳　　８）85 歳以上

【問３】居住形態を教えてください。

１）一軒家（一戸建て）・持ち家　　２）一軒家（一戸建て）・借家
３）集合住宅・持ち家　　４）集合住宅・借家　　５）公営住宅
６）その他（　　）

【問４】家族構成を教えてください。

１）ひとり暮らし　　２）夫婦のみ　　３）子どもと同居　　４）兄弟・親族と同居
５）その他（　　）

【問５】今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

１）１年未満　　２）１年以上～３年未満　　３）３年以上～５年未満
４）５年以上～10 年未満　　５）１０年以上～20 年未満　　６）２０年以上

【問６】あなたの健康状態はどうですか。（○はいくつでも）

１）健康である　　２）通院している　　３）通院していないが、体調がすぐれない
４）歩くのが不自由　　５）寝たきり状態
６）その他（　　）

日常の生活についてお尋ねします。

【問７】日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）炊事　　２）掃除　　３）洗濯　　４）買い物　　５）ゴミ出し
６）布団干し　　７）草とり　　８）電球の交換　　９）家具の移動
10）その他（　　）
11）特になし

【問８】その他に、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）医療や介護のこと　　２）経済的なこと　　３）地域の人とのつきあい
４）その他（　　）　　５）困っていることはない

【問９】困った時に相談する相手はいますか。（○はいくつでも）

１）家族・親族　　２）友人・知人　　３）自治会長　　４）民生委員
５）ふれあい協力者　　６）専門家（医師、地域包括支援センターなど）
７）その他（　　）　　８）相談できる人はいない

【問１０】困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

１）誰でもいいから力を借りたい
２）ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい
３）顔見知りではない人から力を借りたい
４）誰からも力を借りたくない
５）今は分からない

日常的な外出についてお尋ねします

【問１１】どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（○はいくつでも）

１）買い物　２）病院　３）散歩　４）友達と会う　５）別居の家族や子どもと会う
６）サロンや老人会など、地域の集まり　７）趣味　８）その他（　　）

【問１２】お出かけの頻度はどの位ですか。

１）ほとんど外出しない　２）週１回　３）週２～４回　４）週５回以上

【問１３】以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）病気、障がい　２）足腰の痛み　３）トイレの心配　４）気分が乗らない
５）外での楽しみがない　６）移動手段がない　７）その他（　　）
８）外出を控えていない

【問１４】外出する際の主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

１）徒歩　２）車いす　３）自転車　４）バイク
５）自家用車（自分で運転）　６）自動車（人に乗せてもらう）
７）公共交通機関（バス、電車）　８）ふれあい交通　９）タクシー
10）その他（　　）

ご近所付き合いについてお尋ねします。

【問１５】あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

１）何か困ったときに助けてくれる人がいる　２）困ったときに相談する人がいる
３）互いに訪問しあう人はいる　４）立ち話をする人はいる
５）顔が合えばあいさつを交わす人はいる　６）ほとんど付き合いがない

【問１６】日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

１）人と関わることは必要だと思うし、している
２）人と関わることは必要だと思うが、できていない
３）あまり人と関わりたくないと思っている
４）その他（　　）

【問１７】あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場　２）困ったことを相談できる場
３）高齢者が集まって運動や体操が出来る場
４）地域のために必要なボランティア活動を考える場
５）子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場
６）子育て中の親子が集える場　７）退職後の男性が集える場
８）その他（　　）

【問１８】災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域住民同士が活発に交流する
２）地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる
３）地域で避難訓練を実施する
４）地域の避難場所を把握しておく
５）高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく
６）避難をあきらめている
７）その他（　　）
８）わからない

住民同士の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」についてお尋ねします。

【問１９】「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

１）見守られているという安心感がある
２）何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある
３）実際に困った際に助けてもらったことがある
４）支援していただいて申し訳ないと思うときがある
５）いつも見られているのではないかと思うときがある
６）役立っていると思わない
７）その他（　　）

【問２０】あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

１）既に協力している
２）可能な範囲で協力をしてみたい
３）協力したいとは思わない
４）その他（　　）

【問２１】最後に、感想や意見があればご自由にお書きください。

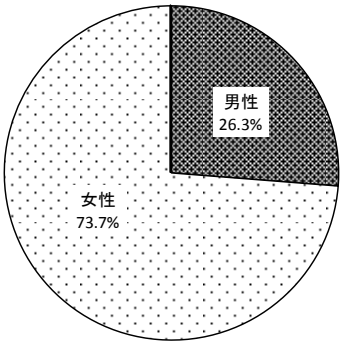
調査へご協力いただき、ありがとうございました。

(3)実態調査集計結果

問 1	あなたの性別を教えてください。

（N=259）

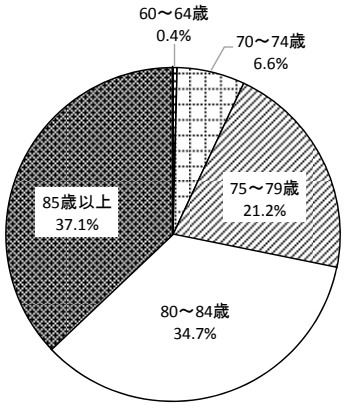
	回答数	割合
男性	68	26.3%
女性	191	73.7%



問 2	あなたの年齢を教えてください。

（N=259）

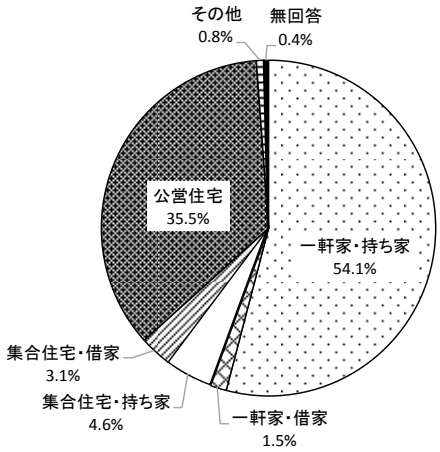
	回答数	割合
50歳未満	0	0.0%
50～59歳	0	0.0%
60～64歳	1	0.4%
65～69歳	0	0.0%
70～74歳	17	6.6%
75～79歳	55	21.2%
80～84歳	90	34.7%
85歳以上	96	37.1%



問 3	居住形態を教えてください。

（N=259）

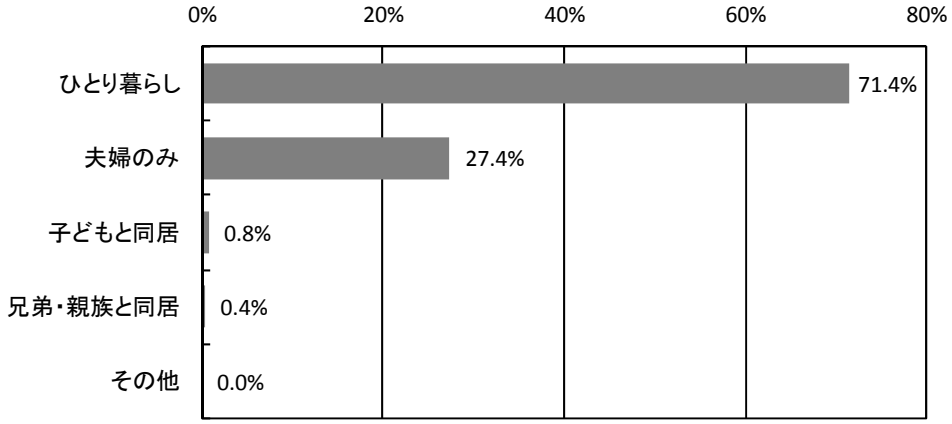
	回答数	割合
一軒家・持ち家	140	54.1%
一軒家・借家	4	1.5%
集合住宅・持ち家	12	4.6%
集合住宅・借家	8	3.1%
公営住宅	92	35.5%
その他	2	0.8%
無回答	1	0.4%



問 4	家族構成を教えてください。

（N=259）

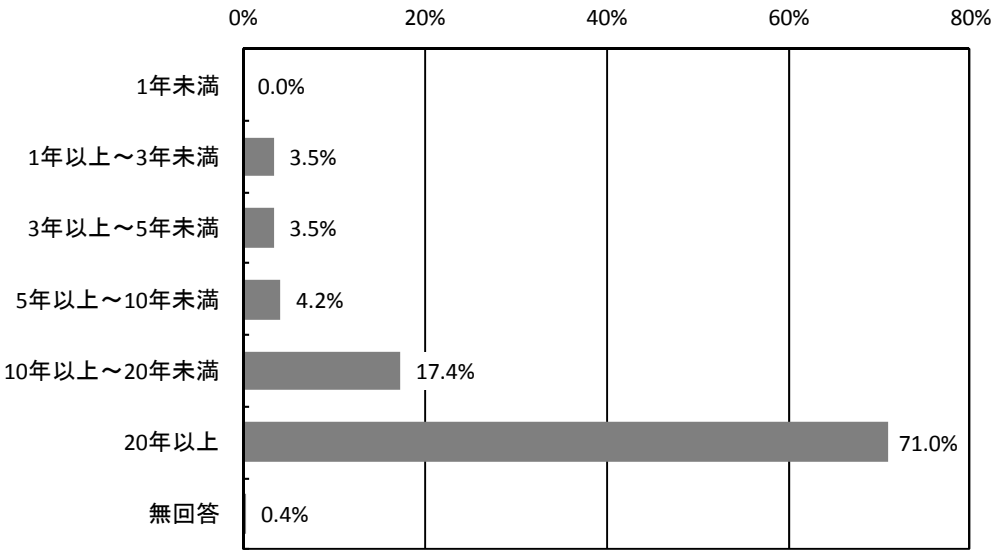
	回答数	割合
ひとり暮らし	185	71.4%
夫婦のみ	71	27.4%
子どもと同居	2	0.8%
兄弟・親族と同居	1	0.4%
その他	0	0.0%



問 5	今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

（N=259）

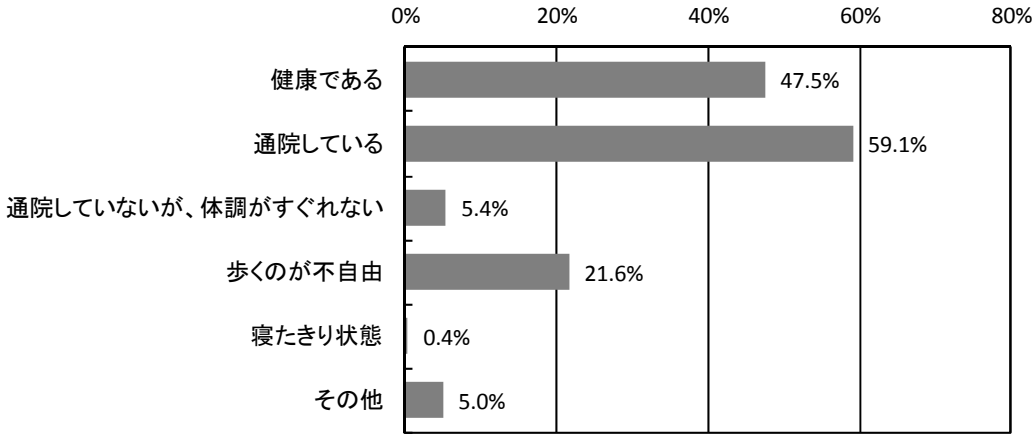
	回答数	割合
1年未満	0	0.0%
1年以上～3年未満	9	3.5%
3年以上～5年未満	9	3.5%
5年以上～10年未満	11	4.2%
10年以上～20年未満	45	17.4%
20年以上	184	71.0%
無回答	1	0.4%



問 6	あなたの健康状態はどうですか。（〇はいくつでも）

（N=259）

	回答数	割合
健康である	123	47.5%
通院している	153	59.1%
通院していないが、体調がすぐれない	14	5.4%
歩くのが不自由	56	21.6%
寝たきり状態	1	0.4%
その他	13	5.0%



※複数回答

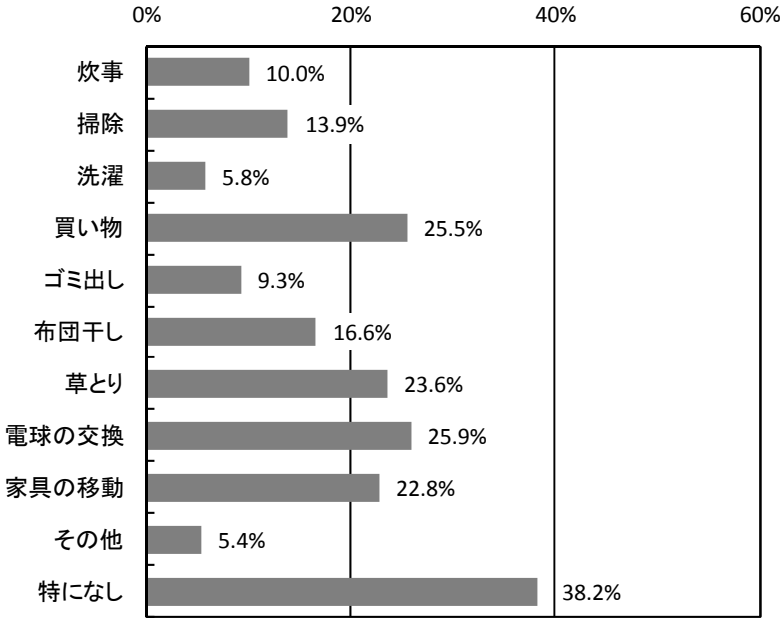
（%）

		サンプル数	健康である	通院している	通院していないが、体調がすぐれない	歩くのが不自由	寝たきり状態	その他
全　体		259	47.5	59.1	5.4	21.6	0.4	5.0
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	100.0	100.0	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	17	76.5	29.4	－	－	－	5.9
	75～79歳	55	43.6	67.3	3.6	16.4	－	10.9
	80～84歳	90	48.9	55.6	8.9	17.8	1.1	1.1
	85歳以上	96	42.7	62.5	4.2	32.3	－	5.2

問 7	日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=259）

	回答数	割合
炊事	26	10.0%
掃除	36	13.9%
洗濯	15	5.8%
買い物	66	25.5%
ゴミ出し	24	9.3%
布団干し	43	16.6%
草とり	61	23.6%
電球の交換	67	25.9%
家具の移動	59	22.8%
その他	14	5.4%
特になし	99	38.2%



※複数回答

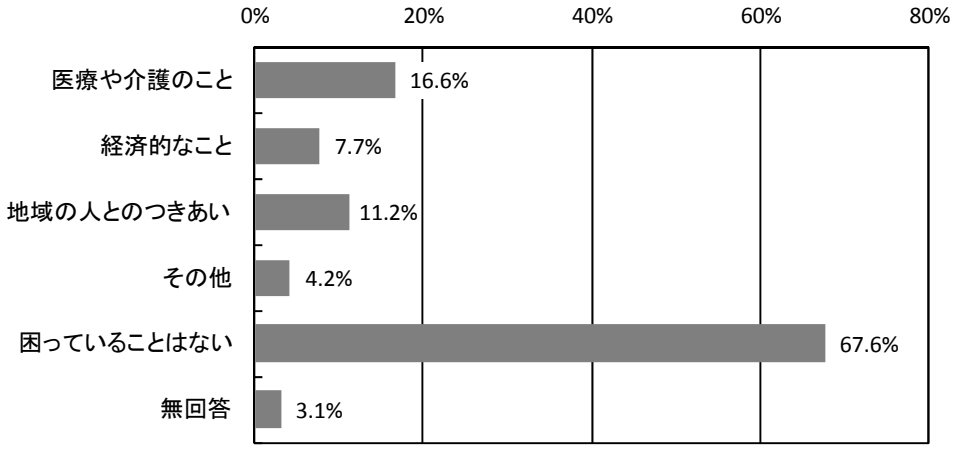
（%）

		サンプル数	炊事	掃除	洗濯	買い物	ゴミ出し	布団干し	草とり	電球の交換	家具の移動	その他	特になし
全　体		259	10.0	13.9	5.8	25.5	9.3	16.6	23.6	25.9	22.8	5.4	38.2
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
	65～69歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	70～74歳	17	—	5.9	—	5.9	—	—	—	23.5	23.5	—	58.8
	75～79歳	55	10.9	7.3	1.8	18.2	5.5	16.4	20.0	25.5	25.5	5.5	47.3
	80～84歳	90	11.1	16.7	7.8	27.8	7.8	14.4	20.0	25.6	18.9	3.3	38.9
	85歳以上	96	10.4	16.7	7.3	31.3	14.6	21.9	33.3	27.1	25.0	8.3	28.1

問 8	その他に、困ったことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=259）

	回答数	割合
医療や介護のこと	43	16.6%
経済的なこと	20	7.7%
地域の人とのつきあい	29	11.2%
その他	11	4.2%
困っていることはない	175	67.6%
無回答	8	3.1%



※複数回答

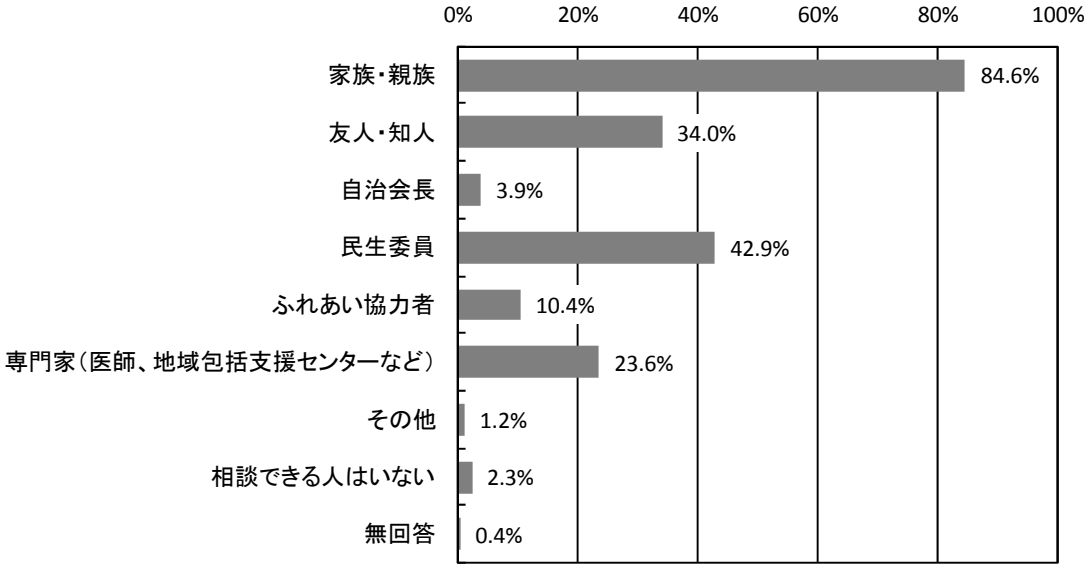
（%）

		サンプル数	医療や介護のこと	経済的なこと	地域の人とのつきあい	その他	困っていることはない	無回答
全　体		259	16.6	7.7	11.2	4.2	67.6	3.1
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	－	－	－	－	100.0	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	17	－	11.8	11.8	－	76.5	5.9
	75～79歳	55	9.1	12.7	7.3	3.6	72.7	1.8
	80～84歳	90	22.2	6.7	13.3	6.7	64.4	1.1
	85歳以上	96	18.8	5.2	11.5	3.1	65.6	5.2

問 9	困った時に相談する相手はいますか。（〇はいくつでも）

（N=259）

	回答数	割合
家族・親族	219	84.6%
友人・知人	88	34.0%
自治会長	10	3.9%
民生委員	111	42.9%
ふれあい協力者	27	10.4%
専門家（医師、地域包括支援センターなど）	61	23.6%
その他	3	1.2%
相談できる人はいない	6	2.3%
無回答	1	0.4%



※複数回答

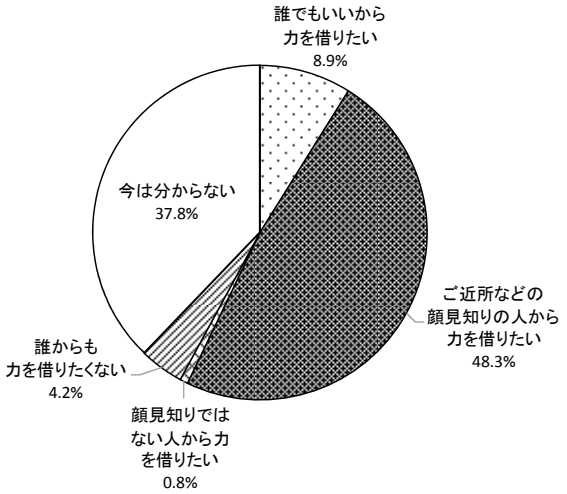
（%）

		サンプル数	家族・親族	友人・知人	自治会長	民生委員	ふれあい協力者	専門家（医師、地域包括支援センターなど）	その他	相談できる人はいない	無回答
全体		259	84.6	34.0	3.9	42.9	10.4	23.6	1.2	2.3	0.4
性別	男性	68	85.3	20.6	5.9	36.8	8.8	23.5	1.5	2.9	1.5
	女性	191	84.3	38.7	3.1	45.0	11.0	23.6	1.0	2.1	－
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	17	82.4	64.7	－	41.2	－	5.9	－	5.9	－
	75～79歳	55	70.9	50.9	3.6	43.6	7.3	16.4	1.8	1.8	－
	80～84歳	90	88.9	28.9	3.3	43.3	12.2	27.8	1.1	－	1.1
	85歳以上	96	88.5	24.0	5.2	42.7	12.5	27.1	1.0	4.2	－

問 10	困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

（N=259）

	回答数	割合
誰でもいいから力を借りたい	23	8.9%
ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	125	48.3%
顔見知りではない人から力を借りたい	2	0.8%
誰からも力を借りたくない	11	4.2%
今は分からない	98	37.8%



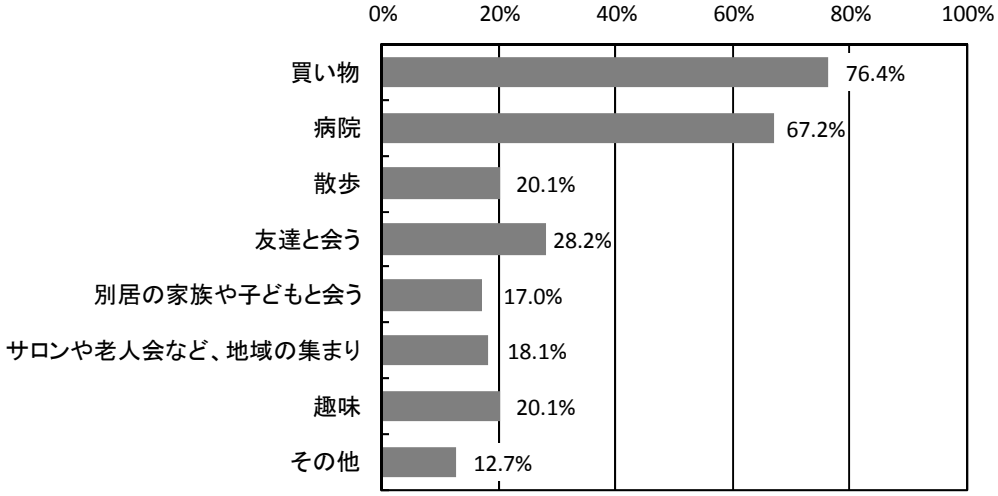
（%）

		サンプル数	誰でもいいから力を借りたい	ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	顔見知りではない人から力を借りたい	誰からも力を借りたくない	今は分からない
全　体		259	8.9	48.3	0.8	4.2	37.8
性別	男性	68	7.4	52.9	―	5.9	33.8
	女性	191	9.4	46.6	1.0	3.7	39.3
年齢別	50歳未満	0	―	―	―	―	―
	50～59歳	0	―	―	―	―	―
	60～64歳	1	100.0	―	―	―	―
	65～69歳	0	―	―	―	―	―
	70～74歳	17	―	47.1	―	―	52.9
	75～79歳	55	9.1	36.4	―	1.8	52.7
	80～84歳	90	8.9	50.0	2.2	2.2	36.7
	85歳以上	96	9.4	54.2	―	8.3	28.1

問 11	どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（〇はいくつでも）

（N=259）

	回答数	割合
買い物	198	76.4%
病院	174	67.2%
散歩	52	20.1%
友達と会う	73	28.2%
別居の家族や子どもと会う	44	17.0%
サロンや老人会など、地域の集まり	47	18.1%
趣味	52	20.1%
その他	33	12.7%



※複数回答

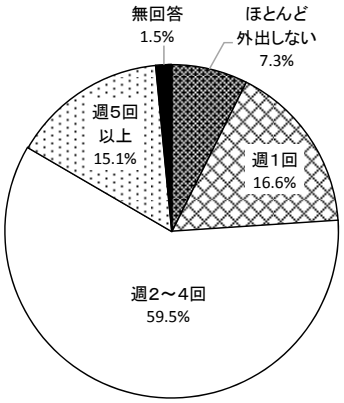
（%）

		サンプル数	買い物	病院	散歩	友達と会う	別居の家族や子どもと会う	サロンや老人会など、地域の集まり	趣味	その他
全　体		259	76.4	67.2	20.1	28.2	17.0	18.1	20.1	12.7
性別	男性	68	69.1	67.6	20.6	17.6	13.2	16.2	20.6	16.2
	女性	191	79.1	67.0	19.9	31.9	18.3	18.8	19.9	11.5
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	17	94.1	58.8	11.8	47.1	5.9	29.4	23.5	17.6
	75～79歳	55	87.3	67.3	34.5	50.9	20.0	21.8	32.7	10.9
	80～84歳	90	81.1	67.8	20.0	22.2	18.9	12.2	20.0	7.8
	85歳以上	96	62.5	67.7	13.5	17.7	15.6	19.8	12.5	17.7

問 12	お出かけの頻度はどの位ですか。

（N=259）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	19	7.3%
週1回	43	16.6%
週2～4回	154	59.5%
週5回以上	39	15.1%
無回答	4	1.5%



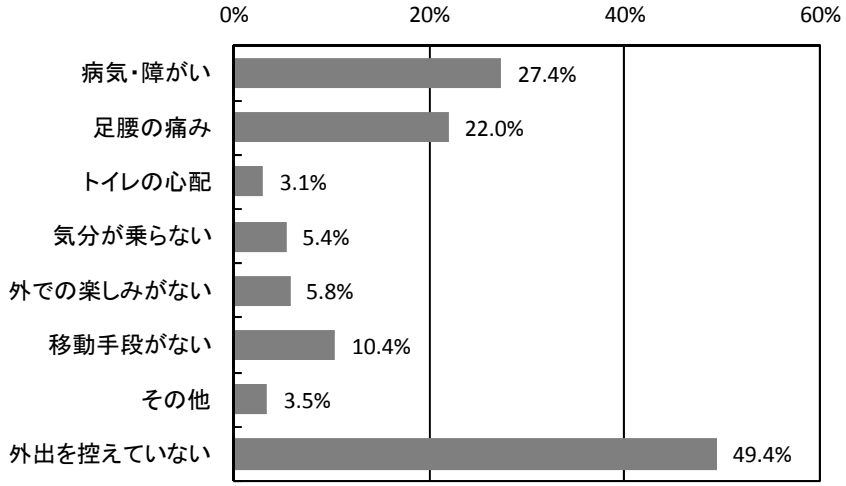
（%）

		サンプル数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全　体		259	7.3	16.6	59.5	15.1	1.5
性別	男性	68	8.8	10.3	60.3	19.1	1.5
	女性	191	6.8	18.8	59.2	13.6	1.6
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	－	－	100.0	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－
	70～74歳	17	－	11.8	41.2	47.1	－
	75～79歳	55	－	12.7	65.5	18.2	3.6
	80～84歳	90	4.4	18.9	58.9	15.6	2.2
	85歳以上	96	15.6	17.7	59.4	7.3	－

問 13	以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（○はいくつでも）

（N=259）

	回答数	割合
病気・障がい	71	27.4%
足腰の痛み	57	22.0%
トイレの心配	8	3.1%
気分が乗らない	14	5.4%
外での楽しみがない	15	5.8%
移動手段がない	27	10.4%
その他	9	3.5%
外出を控えていない	128	49.4%



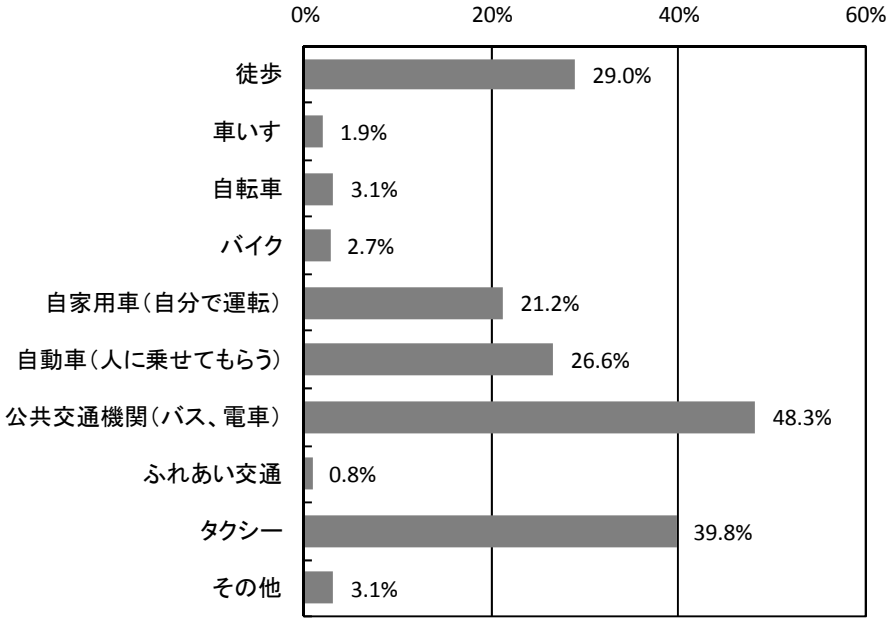
※複数回答
（%）

		サンプル数	病気・障がい	足腰の痛み	トイレの心配	気分が乗らない	外での楽しみがない	移動手段がない	その他	外出を控えていない
全　体		259	27.4	22.0	3.1	5.4	5.8	10.4	3.5	49.4
年齢別	50歳未満	0	―	―	―	―	―	―	―	―
	50～59歳	0	―	―	―	―	―	―	―	―
	60～64歳	1	―	―	―	―	―	―	―	100.0
	65～69歳	0	―	―	―	―	―	―	―	―
	70～74歳	17	5.9	5.9	―	5.9	―	5.9	―	82.4
	75～79歳	55	16.4	18.2	7.3	5.5	5.5	7.3	―	60.0
	80～84歳	90	34.4	27.8	4.4	5.6	4.4	12.2	2.2	45.6
	85歳以上	96	31.3	21.9	―	5.2	8.3	11.5	7.3	40.6

問 14	外出する際の主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

（N=259）

	回答数	割合
徒歩	75	29.0%
車いす	5	1.9%
自転車	8	3.1%
バイク	7	2.7%
自家用車（自分で運転）	55	21.2%
自動車（人に乗せてもらう）	69	26.6%
公共交通機関（バス、電車）	125	48.3%
ふれあい交通	2	0.8%
タクシー	103	39.8%
その他	8	3.1%



※複数回答

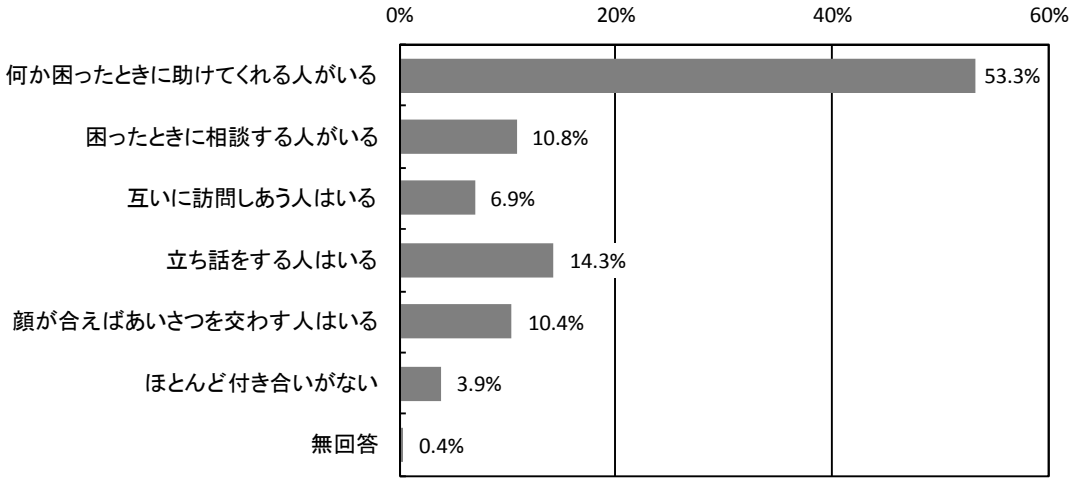
（%）

		サンプル数	徒歩	車いす	自転車	バイク	自家用車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	公共交通機関（バス、電車）	ふれあい交通	タクシー	その他
全体		259	29.0	1.9	3.1	2.7	21.2	26.6	48.3	0.8	39.8	3.1
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	17	17.6	－	5.9	5.9	58.8	11.8	52.9	－	5.9	－
	75～79歳	55	32.7	－	7.3	7.3	27.3	23.6	60.0	1.8	40.0	3.6
	80～84歳	90	28.9	1.1	3.3	1.1	21.1	31.1	47.8	1.1	36.7	3.3
	85歳以上	96	29.2	4.2	－	1.0	10.4	27.1	41.7	－	49.0	3.1

問 15	あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

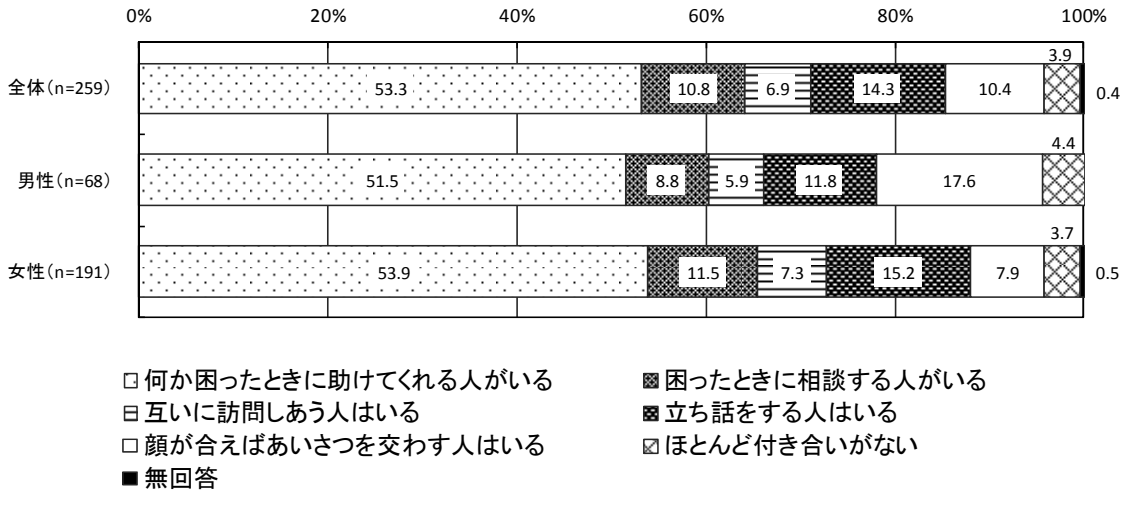
（N=259）

	回答数	割合
何か困ったときに助けてくれる人がいる	138	53.3%
困ったときに相談する人がいる	28	10.8%
互いに訪問しあう人はいる	18	6.9%
立ち話をする人はいる	37	14.3%
顔が合えばあいさつを交わす人はいる	27	10.4%
ほとんど付き合いがない	10	3.9%
無回答	1	0.4%



（%）

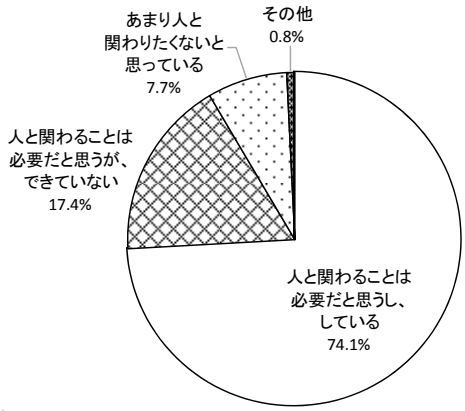
		サンプル数	何か困ったときに助けてくれる人がいる	困ったときに相談する人がいる	互いに訪問しあう人はいる	立ち話をする人はいる	顔が合えばあいさつを交わす人はいる	ほとんど付き合いがない	無回答
全　体		259	53.3	10.8	6.9	14.3	10.4	3.9	0.4
性別	男性	68	51.5	8.8	5.9	11.8	17.6	4.4	－
	女性	191	53.9	11.5	7.3	15.2	7.9	3.7	0.5



問 16	日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

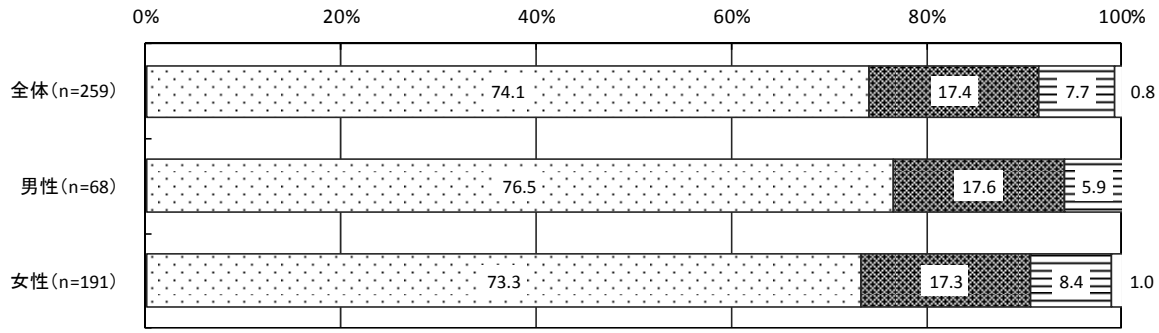
（N=259）

	回答数	割合
人と関わることは必要だと思うし、している	192	74.1%
人と関わることは必要だと思うが、できていない	45	17.4%
あまり人と関わりたくないと思っている	20	7.7%
その他	2	0.8%



（%）

		サンプル数	人と関わることは必要だと思うし、している	人と関わることは必要だと思うが、できていない	あまり人と関わりたくないと思っている	その他
全　体		259	74.1	17.4	7.7	0.8
性別	男性	68	76.5	17.6	5.9	―
	女性	191	73.3	17.3	8.4	1.0

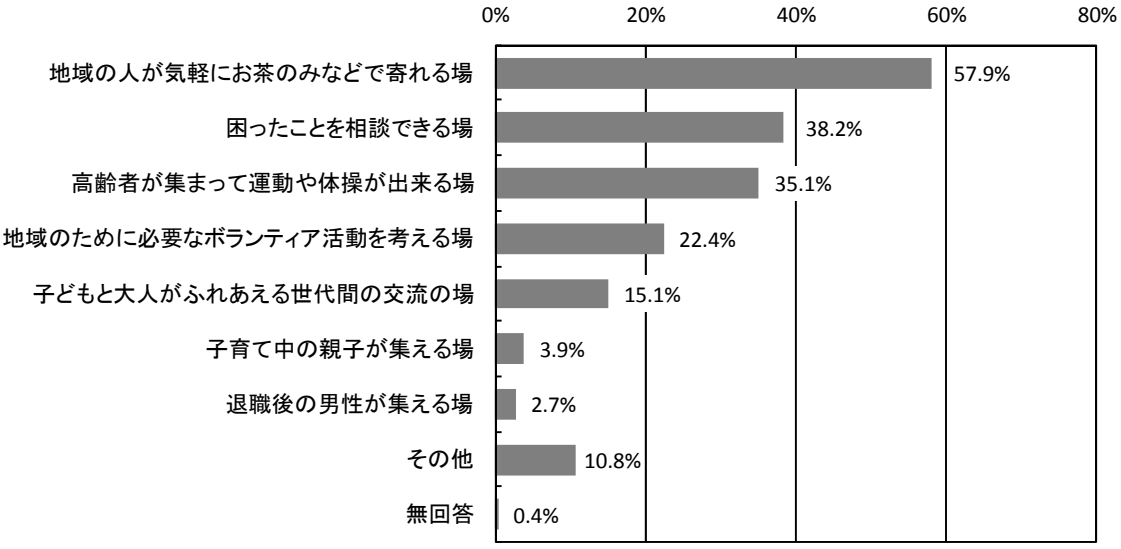


□人と関わることは必要だと思うし、している
▩人と関わることは必要だと思うが、できていない
▤あまり人と関わりたくないと思っている
□その他

問 17	あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=259）

	回答数	割合
地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	150	57.9%
困ったことを相談できる場	99	38.2%
高齢者が集まって運動や体操が出来る場	91	35.1%
地域のために必要なボランティア活動を考える場	58	22.4%
子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	39	15.1%
子育て中の親子が集える場	10	3.9%
退職後の男性が集える場	7	2.7%
その他	28	10.8%
無回答	1	0.4%



※複数回答

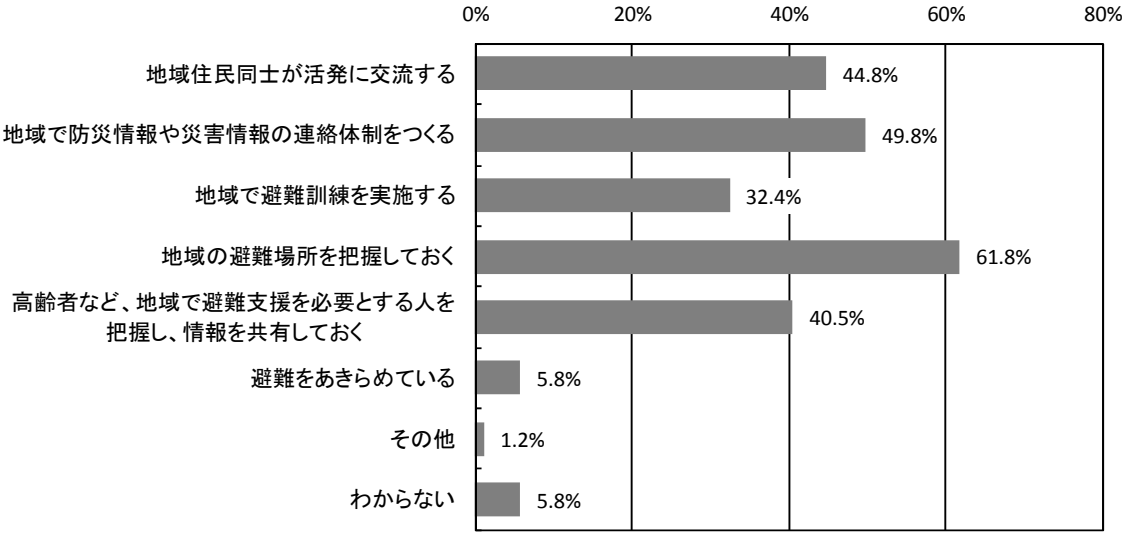
（%）

		サンプル数	地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	困ったことを相談できる場	高齢者が集まって運動や体操が出来る場	地域のために必要なボランティア活動を考える場	子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	子育て中の親子が集える場	退職後の男性が集える場	その他	無回答
全体		259	57.9	38.2	35.1	22.4	15.1	3.9	2.7	10.8	0.4
性別	男性	68	58.8	35.3	33.8	25.0	17.6	5.9	7.4	10.3	—
	女性	191	57.6	39.3	35.6	21.5	14.1	3.1	1.0	11.0	0.5
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	70～74歳	17	52.9	29.4	35.3	23.5	5.9	—	—	5.9	—
	75～79歳	55	58.2	41.8	40.0	23.6	12.7	1.8	1.8	7.3	—
	80～84歳	90	62.2	41.1	37.8	25.6	14.4	6.7	3.3	7.8	1.1
	85歳以上	96	55.2	34.4	30.2	18.8	18.8	3.1	3.1	16.7	—

問 18	災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=259）

	回答数	割合
地域住民同士が活発に交流する	116	44.8%
地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	129	49.8%
地域で避難訓練を実施する	84	32.4%
地域の避難場所を把握しておく	160	61.8%
高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	105	40.5%
避難をあきらめている	15	5.8%
その他	3	1.2%
わからない	15	5.8%



※複数回答

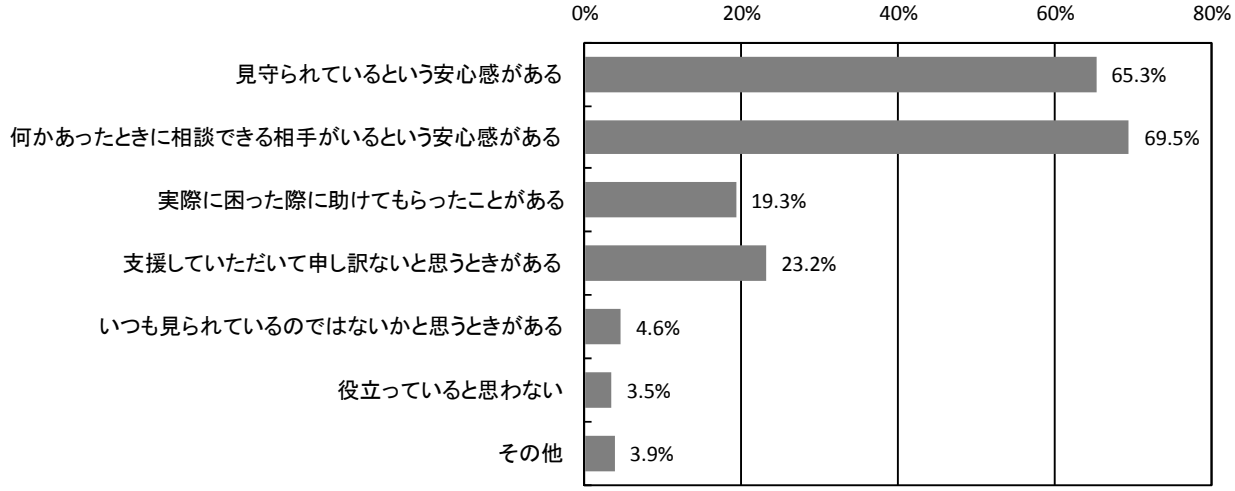
（%）

		サンプル数	地域住民同士が活発に交流する	地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	地域で避難訓練を実施する	地域の避難場所を把握しておく	高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	避難をあきらめている	その他	わからない
全　体		259	44.8	49.8	32.4	61.8	40.5	5.8	1.2	5.8
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	70～74歳	17	41.2	52.9	17.6	64.7	47.1	—	—	—
	75～79歳	55	36.4	41.8	30.9	61.8	30.9	5.5	—	5.5
	80～84歳	90	52.2	56.7	36.7	62.2	48.9	6.7	—	8.9
	85歳以上	96	42.7	47.9	32.3	61.5	37.5	6.3	3.1	4.2

問 19	「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

（N=259）

	回答数	割合
見守られているという安心感がある	169	65.3%
何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	180	69.5%
実際に困った際に助けてもらったことがある	50	19.3%
支援していただいて申し訳ないと思うときがある	60	23.2%
いつも見られているのではないかと思うときがある	12	4.6%
役立っていると思わない	9	3.5%
その他	10	3.9%



※複数回答

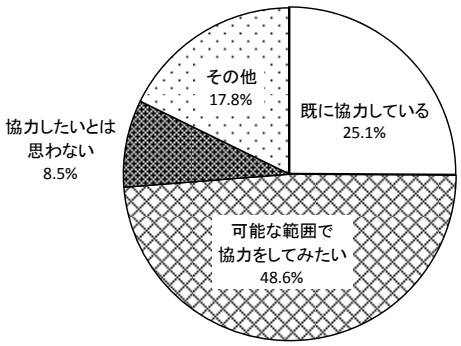
（%）

		サンプル数	見守られているという安心感がある	何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	実際に困った際に助けてもらったことがある	支援していただいて申し訳ないと思うときがある	いつも見られているのではないかと思うときがある	役立っていると思わない	その他
全　体		259	65.3	69.5	19.3	23.2	4.6	3.5	3.9
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	－	100.0	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	17	47.1	64.7	5.9	23.5	－	－	5.9
	75～79歳	55	54.5	65.5	20.0	32.7	7.3	1.8	－
	80～84歳	90	71.1	71.1	17.8	20.0	3.3	5.6	3.3
	85歳以上	96	69.8	70.8	22.9	20.8	5.2	3.1	6.3

問 20	あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

（N=259）

	回答数	割合
既に協力している	65	25.1%
可能な範囲で協力をしてみたい	126	48.6%
協力したいとは思わない	22	8.5%
その他	46	17.8%



（%）

		サンプル数	既に協力している	可能な範囲で協力をしてみたい	協力したいとは思わない	その他
全　体		259	25.1	48.6	8.5	17.8
性別	男性	68	27.9	41.2	10.3	20.6
	女性	191	24.1	51.3	7.9	16.8
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－
	60～64歳	1	－	100.0	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－
	70～74歳	17	35.3	58.8	－	5.9
	75～79歳	55	14.5	65.5	7.3	12.7
	80～84歳	90	30.0	44.4	7.8	17.8
	85歳以上	96	25.0	40.6	11.5	22.9

城南校区社会福祉協議会　地域福祉活動計画	
発　行　日	平成３１年３月
発　　行	城南校区社会福祉協議会 大分市社会福祉協議会　地域福祉課　地域福祉係 〒８７０－０８３９ 大分市金池南１丁目５番１号　ホルトホール大分４階 ℡　０９７－５４７－７４１８